

令和7年度
(2025.4～2026.3)
シラバス(授業計画)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
生命薬科学専攻(博士前期課程)

2025年 医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻 博士前期課程 開講科目 目次

	科目名	開講時期	曜日校時	単位数	掲載 ページ
講義	創薬プロセス特論Ⅲ	後期・前半	月・集中	1	5 - 6
	創薬プロセス特論Ⅳ	後期・後半	月・集中	1	7 - 8
	特別薬科学演習Ⅰ	集中		1	9 - 10
	特別薬科学演習Ⅱ	集中		1	11 - 12
	生命薬科学トピックスⅠ	前期・前半	月・4	1	13 - 14
	メディシナルケミストリー特論Ⅳ	前期・前半	火・4	1	15 - 16
	メディシナルケミストリー特論Ⅴ	後期・前半	金・1	1	17 - 18
	メディシナルケミストリー特論Ⅵ	後期・前半	水・1	1	19 - 20
	メディカルバイオ特論Ⅴ	前期・前半	月・1	1	21 - 22
	メディカルバイオ特論Ⅵ	後期・前半	木・1	1	23 - 24
	メディカルバイオ特論Ⅷ	前期・前半	水・1	1	25 - 26
	天然薬物資源学特論Ⅱ	前期・前半	木・1	1	27 - 28
	天然薬物資源学特論Ⅲ	前期・前半	金・1	1	29 - 30
	ヘルスサイエンス特論Ⅳ	前期・後半	月・1	1	31 - 32
	ヘルスサイエンス特論Ⅴ	後期・後半	木・1	1	33 - 34
	ヘルスサイエンス特論Ⅵ	後期・前半	火・1	1	35 - 36
	臨床応用薬学特論Ⅲ	後期・前半	月・4	1	37 - 38
	臨床応用薬学特論Ⅳ	後期・前半	月・5	1	39 - 40
演習・特別実験	分子創薬科学課題研究Ⅰ	細胞制御学		4	41 - 42
	分子創薬科学特別実験	細胞制御学		16	43 - 44
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	創薬薬理学		4	45 - 46
	分子創薬科学特別実験	創薬薬理学		16	47 - 48
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	薬化学		4	49 - 50
	分子創薬科学特別実験	薬化学		16	51 - 52
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	薬品製造化学		4	53 - 54
	分子創薬科学特別実験	薬品製造化学		16	55 - 56
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	医薬品合成化学		4	57 - 58
	分子創薬科学特別実験	医薬品合成化学		16	59 - 60
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	ゲノム創薬学		4	61 - 62
	分子創薬科学特別実験	ゲノム創薬学		16	63 - 64
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	先端創薬学		4	65 - 66
	分子創薬科学特別実験	先端創薬学		16	67 - 68
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	神経回路生物学		4	69 - 70
	分子創薬科学特別実験	神経回路生物学		16	71 - 72
	分子創薬科学課題研究Ⅰ	ウイルス感染症学		4	73 - 74
	分子創薬科学特別実験	ウイルス感染症学		16	75 - 76
	健康薬科学課題研究Ⅰ	機能性分子化学		4	77 - 78
	健康薬科学特別実験	機能性分子化学		16	79 - 80
	健康薬科学課題研究Ⅰ	衛生化学		4	81 - 82
	健康薬科学特別実験	衛生化学		16	83 - 84
	健康薬科学課題研究Ⅰ	薬品分析化学		4	85 - 86
	健康薬科学特別実験	薬品分析化学		16	87 - 88
	天然薬物資源学課題研究Ⅰ	創薬資源分子		4	89 - 90
	天然薬物資源学特別実験	創薬資源分子		16	91 - 92
	天然薬物資源学課題研究Ⅰ	薬品構造解析学		4	93 - 94
	天然薬物資源学特別実験	薬品構造解析学		16	95 - 96
	臨床薬学課題研究Ⅰ	薬物治療学		4	97 - 98
	臨床薬学特別実験	薬物治療学		16	99 - 100
	臨床薬学課題研究Ⅰ	医薬品情報学		4	101 - 102
	臨床薬学特別実験	医薬品情報学		16	103 - 104
	臨床薬学課題研究Ⅰ	薬剤学		4	105 - 106
	臨床薬学特別実験	薬剤学		16	107 - 108

令和7年度 医歯薬学総合研究科博士前期課程 授業計画カレンダー

前期：4月7日（月）～8月6日（水）

R7年	日	月	火	水	木	金	土
4月	・	・	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	・	・	・

4/2 入学式

4/3 オリエンテーション

4/7 前期授業開始

後期：9月29日（月）～2月9日（月）

	日	月	火	水	木	金	土
9月	28	29	30	1	2	3	4
10月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	・

9/29 後期授業開始

	日	月	火	水	木	金	土
5月	・	・	・	・	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
11月	・	・	・	・	・	・	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	・	・	・	・	・	・

11/4 月曜日（11/3）の授業実施日

	日	月	火	水	木	金	土
6月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	・	・	・	・	・

	日	月	火	水	木	金	土
12月	・	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	・	・	・

	日	月	火	水	木	金	土
7月	・	・	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	・	・

7/25～27 九重合宿研修

R8年	日	月	火	水	木	金	土
1月	・	・	・	・	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

1/16 共通テスト試験場設営（休講）

1/20 共通テスト試験監督等振替（休講）

1/22 学校推薦型選抜Ⅱ（休講）

	日	月	火	水	木	金	土
8月	・	・	・	・	・	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	・	・	・	・	・	・

	日	月	火	水	木	金	土
2月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28

2/25 前期日程入試

	日	月	火	水	木	金	土
9月	・	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	・	・	・	・

9/19 学位記授与式

9/26 秋季入学者オリエンテーション（仮）

	日	月	火	水	木	金	土
3月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	・	・	・	・

3/12 後期日程入試

3/21～ 春季休業

3/25 学位記授与式

	授業日
	予備日
	最終講義日（定期試験日は設定しない）
	月曜日授業実施日

授業回数

月	火	水	木	金
16	16	16	16	16

月	火	水	木	金
16	16	16	16	16

令和7年度大学院授業時間割

生命薬科学専攻(博士前期課程):薬科学コース

前期

2024.12.11

	曜 日	月	火	水	木	金
	校 時	4/7, 14, 21, 28 5/12, 19, 26 6/2	4/8, 15, 22 5/13, 20, 27 6/3, 10	4/9, 16, 23 ※4/30は予備日 5/7, 14, 21, 28 6/4	4/10, 17, 24 5/8, 15, 22, 29 ※5/1は予備日 6/5	4/11, 18, 25 5/9, 16, 23, 30 ※5/2は予備日 6/6
1 ク オ ー タ ー	1校時 8:50～10:20	メディカルバイオ特論Ⅴ 岩田, 城谷 第2講義室		メディカルバイオ特論Ⅷ 金子, 松久 第2講義室	天然薬物資源学特論Ⅱ 山田, 真木 第2講義室	天然薬物資源学特論Ⅲ 薬師寺, 齋藤, 松尾 第2講義室
	2校時 10:30～12:00					
	3校時 12:50～14:20					
	4校時 14:30～16:00	生命薬科学トピックスⅠ 田中(正), 武田, 金子, 栗山, 岩田, 石原, 北里 第2講義室	メデイナルケミストリー特論Ⅳ 田中(正), 上田 第2講義室			

	曜 日	月	火	水	木	金
	校 時	6/9, 16, 23, 30 7/7, 14, 28 8/4	6/17, 24 7/1, 8, 15, 22, 29 8/5	6/11, 18, 25 7/2, 9, 16, 23 ※7/30は予備日 8/6	6/12, 19, 26 7/3, 10, 17, 24, 31 ※8/7は予備日	6/13, 20, 27 7/4, 11, 18, 25 8/1
2 ク オ ー タ ー	1校時 8:50～10:20	ヘルスサイエンス特論Ⅳ 岸川 第2講義室				
	2校時 10:30～12:00					
	3校時 12:50～14:20					
	4校時 14:30～16:00					

生命薬科学専攻(博士前期課程):薬科学コース

後期

	曜 日	月	火	水	木	金
	校 時	9/29 10/6, 20, 27 11/4, 10, 17 12/1	9/30 10/7, 14, 21, 28 11/11, 18, 25	10/1, 8, 15, 22, 29 11/5, 12, 26 ※11/19は予備日	10/2, 9, 16, 23, 30 11/6, 13, 20	10/3, 10, 17, 24, 31 11/7, 14, 21
3 ク オ ー タ ー	1校時 8:50～10:20	創薬プロセス特論Ⅲ 第2講義室 未定	ヘルスサイエンス特論Ⅵ 鳥羽, 安孫子 第2講義室	メデイナルケミストリー特論Ⅵ 栗山, 山本(耕) 第2講義室	メディカルバイオ特論Ⅵ 武田, 谷村, 竹生田 第2講義室	メデイナルケミストリー特論Ⅴ 石原, 福田, 小嶺 第2講義室
	2校時 10:30～12:00	創薬プロセス特論Ⅲ 第2講義室 未定				
	3校時 12:50～14:20	創薬プロセス特論Ⅲ 第2講義室 未定				
	4校時 14:30～16:00	臨床応用薬学特論Ⅲ 塚元, 川上, 西田, 麓, 大山, 向井, 平山 第2講義室				
	5校時 16:10～17:40	臨床応用薬学特論Ⅳ 塚元, 川上, 西田, 麓, 大山, 向井, 平山 第2講義室				

	曜 日	月	火	水	木	金
	校 時	12/8, 15, 22 1/5, 19, 26 2/2, 9	12/2, 9, 16, 23 1/6, 13, 27 2/3	12/3, 10, 17 1/7, 14, 21, 28 2/4	11/27 12/4, 11, 18 1/8, 15, 29 2/5	11/28 12/5, 12, 19 1/9, 23, 30 2/6
4 ク オ ー タ ー	1校時 8:50～10:20	創薬プロセス特論Ⅳ 第2講義室 未定			ヘルスサイエンス特論Ⅴ 鎌田 第2講義室	
	2校時 10:30～12:00	創薬プロセス特論Ⅳ 第2講義室 未定				
	3校時 12:50～14:20	創薬プロセス特論Ⅳ 第2講義室 未定				
	4校時 14:30～16:00	創薬プロセス特論Ⅳ 第2講義室 未定				

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2, 月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514600301	科目番号 / Course code	55146003
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51731_786		
授業科目名 / Course title	創薬プロセス特論 / Process on Drug Discovery III		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toriba@nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)		
担当教員研究室/Office	鳥羽陽(大学院教務)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学系大学院修了後、製薬会社や大学あるいは公的機関において医薬品開発に携わる場合に、薬物の有効性の確保と安全性の担保は重要である。さらに医薬品を工業的スケールで安価に短期間にて効率よく製造することも重要なことである。本講義では、分子モデリングやスクリーニング法など効率的な開発候補品の探索と、医薬品開発の実際を語る上で重要となる非臨床試験および治験等に関する知識を学習する。		
授業到達目標/Course goals	創薬のプロセスの基礎を説明できる。(DP-1) スクリーニング法とリード化合物の発見、分子モデリング、構造活性相関、構造最適化、有効性および安全性を確認する非臨床試験、治験および承認申請の仕組みを理解し、説明できる。(DP-1,2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に対する積極的な取り組み(質問等)および授業への貢献度(50%) 授業に対するレポートあるいは試験(50%) 基準: 上記の到達目標に対しての達成度をレポートあるいは試験で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 学部の創薬科学を復習する。(2h) 事後学習: LACS等の資料を復習する。(2h)		
キーワード/Keywords	創薬プロセス、安全性薬理試験、治験		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	創薬プロセス特論 も受講することが望ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 担当講師の都合に合わせて、日時が変更になることがあるので、LACS等で開講日時を確認すること。また、台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	創薬プロセスの基礎および治験について事前に学習しておくこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：未定	未定【対面】
第2回：未定	未定【対面】
第3回：未定	未定【対面】
第4回：未定	未定【対面】
第5回：未定	未定【対面】
第6回：未定	未定【対面】
第7回：未定	未定【対面】
第8回：未定	未定【対面】

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2, 月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514600402	科目番号 / Course code	55146004
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51741_786		
授業科目名 / Course title	創薬プロセス特論 / Process on Drug Discovery IV		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toriba@nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)		
担当教員研究室/Office	鳥羽陽(大学院教務)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学系大学院修了後、製薬会社において医薬品開発に携わる者のみならず、大学や公的機関で研究に携わる者にとっても、学術雑誌への発表と共に特許の獲得が重要な時代となっている。これまでに、研究のために学術論文を読むことは多かったが、特許についてはほとんど目にする事はなかったと考える。本講義では、製薬企業での創薬研究に加えて、医薬品関連の特許を中心とした知的財産(知財)に関する基礎知識を得ることを目的とする。また、創薬プロセス特論に引き続き、医薬品開発と創薬プロセスに関する知識、レギュラトリーサイエンスに関する知識も得ることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	創薬のプロセスの仕組みの基礎を理解し、説明できる。(DP-1,2) 特許制度と知的財産を説明でき、特許のデータを検索し説明できる。(DP-1,2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に対する積極的な取り組み(質問等)および授業への貢献度(50%) 授業に対するレポートあるいは試験(50%) 基準: 上記の到達目標に対しての達成度をレポートあるいは試験で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修: 創薬に関連する特許制度と知的財産について学習しておくこと。(1h) 事後学修: LACS資料を復習すること(3h)		
キーワード/Keywords	創薬プロセス、特許、特許データベース、知財		
教科書・教材・参考書/Materials	産業財産権標準テキスト(発明協会)、特許ハンドブック(特許庁)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	創薬プロセス特論を受講していることが望ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 担当講師の都合に合わせて、日時が変更になることがあるので、LACS等で開講日時を確認すること。また、台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	事前に創業プロセスの基礎および特許について学習しておくこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：未定	未定【対面】
第2回：未定	未定【対面】
第3回：未定	未定【対面】
第4回：未定	未定【対面】
第5回：未定	未定【対面】
第6回：未定	未定【対面】
第7回：未定	未定【対面】
第8回：未定	未定【対面】

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514600503	科目番号 / Course code	55146005
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 66211_796		
授業科目名 / Course title	特別薬科学演習 / Seminar on Special Pharmaceutical Sciences I		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻 博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jishi@nagasaki-u.ac.jp (石原)		
担当教員研究室/Office	大学院教務委員		
担当教員TEL/Tel	九州薬科学研究教育連合の九重研修会引率教員:		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	博士前期課程における生命薬科学者としての研究者マインドの育成を具現化するため、従来型の研究者単位の大学院講義に加え、新たに生命薬科学専攻会議が特に勤める創薬ならびに薬学に関するセミナーへの出席をもって単位化することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	推奨するセミナーへの出席を通じて、直接の研究テーマ以外の生命薬科学研究領域の課題に接し、討論することで幅広い学術的見識を広めることが出来る。生命薬科学者としての研究者マインドの育成、幅広い生命薬科学研究領域における知識の習得と異分野研究者・学生と討論する能力を獲得する。 自身の研究領域以外の知識が理解できる。(DP-1) 異分野研究者・学生と討論できる。(DP-2) 異分野研究者・学生の前で自身の研究内容を発表できる。(DP-3) リーダーシップを発揮できる。(DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	全体討論での発表と質疑応答(30%)、講演への質疑応答(20%)、Small group discussion (SGD)でのリーダーシップ(20%)及び合宿全体への貢献(20%)、レポート(10%) 基準: 上記の到達目標に対しての達成度を討論内容および質疑応答から総合的に評価する。なお、合宿最終日に優秀者を選考し表彰する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: 九州薬科学研究教育連合の九重研修会の指定の課題を準備する。(5h) 事後学習: 九州薬科学研究教育連合の九重研修会の課題を提出する。(10h)		
キーワード/Keywords	生命薬科学、創薬研究		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	ここで学習したことを研究に活かすこと。生命薬科学の基礎およびその関連分野の基礎知識を学習しておく。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
7/25～7/27（予定）	7/25（金）～7/27（日）（予定）九重研修所にてセミナーを実施する。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514600604	科目番号 / Course code	55146006
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 66221_796		
授業科目名 / Course title	特別薬科学演習 / Seminar on Special Pharmaceutical Sciences II		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toriba@nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)		
担当教員研究室/Office	大学院教務委員		
担当教員TEL/Tel	引率教員		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	博士前期課程において、グローバルな視点を持った生命薬科学研究者・技術者として国際社会に貢献できる基礎能力を身につけるため、生命薬科学専攻会議が特に勤める国際セミナーならびに国際交流事業への参加をもって単位化し、生命薬科学研究者・技術者としての国際性を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	国際セミナーならびに国際交流事業にて、生命薬科学研究領域の内容について英語にて発表することができる。(DP-6) 異分野研究者・国籍の異なる学生と英語にて議論・討論する能力を有する。(DP-4,5) グローバルな視点を持ち、幅広い生命薬科学研究領域における知識を獲得している。(DP-1,6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基準：上記の到達目標に対しての達成度を討論内容および質疑応答から総合的に評価する。 国際セミナー、国際交流事業での討論内容(70%)、発表会・レポート(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：指定された課題について発表できるように準備する。(5h) 事後学習：発表会あるいはレポート作製を行う。(10h)		
キーワード/Keywords	国際セミナー、国際交流事業、英語での発表・討論		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	十分な語学力を有する。 受講希望者が多い場合は、成績・語学力等により選考する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	普段から語学力をつけ、国際性を涵養すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	国際セミナーならびに国際交流事業へ参加し、議論を行い学術交流を行う。
2	プレゼンテーション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514600705	科目番号 / Course code	55146007
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 56111_796		
授業科目名 / Course title	生命薬科学トピックス / Topics on Pharmaceutical Sciences I		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 正一 / Tanaka Masakazu, 石原 淳 / Ishihara Jun, 金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 武田 弘資 / TAKEDA Kosuke, 北里 海雄 / Kitazato Kaio, 栗山 正巳 / Kuriyama Masami, 岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
科目分類 / Course Category	講義科目 (特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館 2F第2 講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matanaka@nagasaki-u.ac.jp (田中) 等		
担当教員研究室 / Office	各担当教室		
担当教員TEL / Tel	819-2423 (田中正一) 等		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月一金 13:00-18:00 (田中) 等		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医薬品の創製や開発、プロセス研究および発病メカニズムなど生命科学研究などに携わる研究者には、高度な最新の生命科学に関する知識が求められる。本講義では、創薬の基盤となる有機化学、生化学、薬理学など最先端の生命薬科学のトピックスや研究倫理を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	1) 最先端の生化学を理解できる。 2) 最先端の有機化学を理解できる。 3) ガン、脳疾患、ウイルス感染症等に関する最先端の研究を理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業に対する積極的な態度・質問、小テスト、演習等 (70%) レポート等 (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 講義を進めていく上で出てくる疑問を自分で明らかにする態度を身につける。 事後学習: 結果を分かりやすくまとめたり発表する技術 (ポスターや論文) を身につける。		
キーワード / Keywords	生命科学、有機化学、生化学、薬理学、研究倫理、etc		
教科書・教材・参考書 / Materials	講義中に適宜、指定する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	対面講義		

学生へのメッセージ/Message for students	興味をもった内容に関しては自ら調べ、知識を深めること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	最先端の分子構築法 (石原淳)
第2回	創薬分子開発を指向した合成反応 (栗山正巳) Synthetic reactions oriented toward the development of pharmaceutical molecules
第3回	非タンパク質構成アミノ酸とそのペプチド (田中正一) Non-proteinogenic amino acids and their peptides
第4回	腸内細菌、免疫と健康に関する最新トピックス (北里海雄) Current topics in gut microbiota, immunity and health
第5回	ストレス応答シグナルを標的とした分子標的治療 (武田弘資) Stress-responsive signaling as a target of molecular targeting therapy
第6回	タンパク質分解機構の最前線 (金子雅幸) Frontiers of Protein Degradation Mechanisms
第7回	アルツハイマー病の創薬研究 (岩田修永) Drug discovery for Alzheimer's disease
第8回	臨床試験と倫理審査 ~ 医学研究の原則 ~ (山本弘史) Clinical Trials and Ethical Review: Essential Principles of Medical Research

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514610406	科目番号 / Course code	55146104
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51321_781		
授業科目名 / Course title	メディシナルケミストリー特論 / Medicinal Chemistry IV		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 正一 / Tanaka Masakazu, 上田 篤志 / Ueda Atsushi		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻修士課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部3階 薬化学		
担当教員TEL / Tel	095-819-2423		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日16:00 ~ 18:00、他の時間の場合は連絡すること。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生物有機化学・創薬化学の基礎となる有機化合物の3次元立体構造とその合成法、並びに機能性分子(DDS等)の分子設計、評価の基礎を学ぶ。特に、分子の立体化学の基礎、設計・合成、生体への応用に関して、生体関連化合物のアミノ酸・ペプチドや糖類あるいは天然物などを題材に選び理解を深める。		
授業到達目標 / Course goals	・有機化合物の3次元立体構造が理解できる。 ・立体化学を考慮した生体材料、機能性分子の設計・合成方法について説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況、演習および授業への貢献度(50%)、プレゼンテーション・レポート等(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：有機化学の教科書を復習しておく。 事後学習：興味を持った関連講義について文献を選び、読みまとめる。		
キーワード / Keywords	立体化学、不斉合成、アミノ酸・ペプチド、触媒		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	対面授業		

学生へのメッセージ/Message for students	分子の3次元構造、高分子化学並びに医薬化学の基礎を学ぶ。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	非タンパク質構成アミノ酸の分子設計 (田中) 4/8
第2回	非タンパク質構成アミノ酸のオリゴマー (田中) 4/15
第3回	生体を模倣した機能性オリゴマーの合成と評価1 (田中) 4/22
第4回	生体を模倣した機能性オリゴマーの合成と評価2 (田中) 5/13
第5回	生体内有機化学のコバレントドラッグ創薬応用 (大庭) 5/20
第6回	炭水化物の化学と医薬品開発 (上田) 5/27
第7回	有機金属化学と原薬合成 (上田) 6/3
第8回	有機金属化学と天然物合成 (上田) 6/10

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514610507	科目番号 / Course code	55146105
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51421_781		
授業科目名 / Course title	メディシナルケミストリー特論 / Medicinal Chemistry V		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jishi@nagasaki-u.ac.jp (石原)、hfukuda@nagasaki-u.ac.jp (福田)、keita_komine78@nagasaki-u.ac.jp (小嶺)		
担当教員研究室 / Office	薬学部3階薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426 (石原)、819-2427 (福田)、819-2428 (小嶺)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様な化学構造をもつ天然物の合成研究は、創薬における重要な研究分野であるとともに、様々な合成化学的課題の発見と克服の機会を提供する格好な場と考える。メディシナルケミストリー特論IIでは、創薬の候補となる特異な構造と生物活性をもつ天然物を題材に選び、その立体選択的な合成のためのコンセプトと合成戦略について、最新の研究成果も題材にして学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	合成計画、戦略を説明できるようになる (DP-1) 代表的な反応剤、触媒、合成反応を説明できるようになる (DP-1) 創薬化学としての有機合成化学を説明できるようになる (DP-1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況(50%)、試験(レポート)(50%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。 基準: 上記の到達目標に対しての達成度をレポートあるいは試験で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 学部で学修した有機化学の基礎を復習すること(2h)		
キーワード / Keywords	天然物合成、創薬化学		
教科書・教材・参考書 / Materials	欧文の雑誌(JACS, JOC, OL, Angew.Chem.Int.Ed., Chem.Commun. 他)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	有機合成化学の基礎知識を要する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 また、台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	有機化学の基礎を復習するとともに、その応用に関して理解を深める事
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（10月3日）	天然物合成と創薬化学（福田）（対面）
第2回（10月10日）	天然物合成と創薬化学（福田）（対面）
第3回（10月17日）	天然物合成と創薬化学（福田）（対面）
第4回（10月24日）	天然物合成と創薬化学（西川）（対面）
第5回（10月31日）	天然物合成と創薬化学（小嶺）（対面）
第6回（11月7日）	天然物合成と創薬化学（石原）（対面）
第7回（11月14日）	天然物合成と創薬化学（石原）（対面）
第8回（11月21日）	天然物合成と創薬化学（石原）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514610608	科目番号 / Course code	55146106
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51521_781		
授業科目名 / Course title	メディシナルケミストリー特論 / Medicinal Chemistry VI		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	栗山 正巳 / Kuriyama Masami, 山本 耕介 / Yamamoto Kosuke		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	onomura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医薬品合成化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	医薬品開発に必須な「複雑な有機分子を思い通りに組み立てて合成する」ための方法、特に話題の高選択的合成反応について、それら反応の開拓の目的、進歩の過程、内容を系統的に学ぶ。高度専門職業人育成のための専門教育である。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 代表的な不斉合成反応を体系的に説明できる(DP-1)。 (2) 将来、創薬研究に携わるために必要な知識、方法論を身につけることができる(DP-2)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	上記目標に対する達成度を、授業への積極的な取り組み(30点)、演習・レポート(70点)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	講義内容を十分に理解し、しっかりと整理するために毎回2時間の予習、2時間の復習を要する。		
キーワード / Keywords	精密合成、選択性、触媒		
教科書・教材・参考書 / Materials	本講義の内容は最新の資料を基に行うので教科書は特になし		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	有機化学の基礎知識を備えておくこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	授業は対面形式で実施します。状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	有機化学が基礎となるので、学部教科書を復習しておくこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	金属触媒の特性を利用した選択的有機合成について (栗山) 対面実施
第2回	金属触媒の特性を利用した選択的有機合成について (栗山) 対面実施
第3回	金属触媒の特性を利用した選択的有機合成について (栗山) 対面実施
第4回	金属触媒の特性を利用した選択的有機合成について (山本) 対面実施
第5回	典型元素の特性を利用した選択的有機合成について (栗山) 対面実施
第6回	典型元素の特性を利用した選択的有機合成について (栗山) 対面実施
第7回	典型元素の特性を利用した選択的有機合成について (栗山) 対面実施
第8回	有機触媒の特性を利用した選択的有機合成について (水田賢志：分子標的医学研究センター) 対面実施

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514611109	科目番号 / Course code	55146111
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51621_783		
授業科目名 / Course title	メディカルバイオ特論 / Medical Bioscience V		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa, 城谷 圭朗 / Shirotani Keiro, 八田 大典		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	iwata-n@nagasaki-u.ac.jp, keiroshiro@nagasaki-u.ac.jp, hattad@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部本館2階 ゲノム創薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2435 (岩田修永), 095-819-2436 (城谷圭朗), 095-819-2437 (八田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月~金曜日 13:00-17:00 (メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	アルツハイマー病などの認知症、神経変性疾患、精神疾患に焦点をあて、臨床症状、病理所見、遺伝子異常(常染色体上の変異)やSNPと病気の関係や発症の分子メカニズムに基づく創薬研究について概説する。また、病因タンパク質や発症に深くかかわる分子(酵素など)の機能や構造を基にした選択的アゴニスト・アンタゴニストや特異的阻害剤のデザイン、さらに認知症モデルマウスの作製法や解析手法についても言及する。このように、本講義は、病態メカニズムの深い理解とゲノム創薬を実現していく上で必要となる、分子生物学・細胞生物学的手法やin vivo解析の重要性および方法論を理解するのがねらいである。内容理解確認小テストは英語で行う(英語の辞書持ち込み可)。海外の研究者に講演して頂く場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	・ 神経変性疾患や認知症を分類し、それぞれの疾患の臨床症状や特異的な病理所見について説明できる(DP1) ・ 家族性アルツハイマー病の原因遺伝子や危険因子について説明できる(DP1) ・ アルツハイマー病の病態と病理形成メカニズムを説明できる(DP1) ・ 認知症モデルマウスの特徴について説明できる(DP1) ・ 認知症やアルツハイマー病の創薬標的について説明できる(DP1) ・ 認知症やアルツハイマー病の早期診断法について説明できる(DP1) ・ 精神疾患やジスキネジアの分子病態について説明できる(DP1)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	講義中の課題に対する積極的な取り組み状況 (40%)、課題レポートの内容 (60%) レポート課題は、文章の作成ループリックを用いて評価する。 出欠確認のため、必ず打刻すること。IDカードを忘れた場合は、9:00までに届け出用紙に記入して、教員に直接手渡してください。それ以降は受け付けません。 講義開始10分前~開始10分後の打刻は出席、開始10分後~開始30分後の打刻は遅刻、30分を過ぎても遅刻は欠席とします(出席管理システムにもそのようにセットしてあります)。遅刻3回で欠席1回の扱いとします。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習： LACSIにアップした講義資料、テキストブック、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に専門用語や関係領域の予備知識を取得しておく必要がある。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（1.75h） 事後学習： 理解できなかった箇所は、配布プリントやテキストブック等を使って明らかにするとともに、教員に質問し必ず解決すること。レポート課題があれば、速やかに対応すること。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h）
キーワード/Keywords	認知症、神経変性疾患、アルツハイマー病、神経病理、疾患モデル動物、治療薬開発、診断マーカー
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：アルツハイマー病の謎を解く（中外医学社）、参考図書：認知症テキストブック（中外医学社）など http://www.alzforum.org/
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがあります。
学生へのメッセージ/Message for students	自身の研究分野とは異なると思いますが、当科目の講義から疾患研究の方法論を学んでほしい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月7日 1校時	アルツハイマー病の臨床症状や病理所見を解説する。(1) (岩田) 対面
第2回 4月14日 1校時	アルツハイマー病の臨床症状や病理所見を解説する。(2) (岩田) 対面
第3回 4月21日 1校時	アルツハイマー病の発症に深く関わる遺伝子とその役割について解説する。(城谷) 対面
第4回 4月28日 1校時	アルツハイマー病病理形成の分子メカニズムについて概説する。(城谷) 対面
第5回 5月12日 1校時	アルツハイマー病のモデルマウスを用いたin vivo解析について概説する。(岩田) 対面
第6回 5月19日 1校時	アルツハイマー病の早期診断法と根本的治療薬開発研究に向けた最新情報を提供する。(城谷) 対面
第7回 5月26日 1校時	ジスネジアの原因遺伝子と病態について概説する。(八田) 対面
第8回 6月2日 1校時	外部講師による講演（調整中） 対面

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514611210	科目番号 / Course code	55146112
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51121_783		
授業科目名 / Course title	メディカルバイオ特論 / Medical Bioscience VI		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke, 谷村 進 / Tanimura Susumu, 竹生田 淳 / Takouda Jun		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takeda-k@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部4階細胞制御学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2417		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・金 9:00-17:00 (メールで要予約: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	さまざまな細胞機能を制御する細胞内シグナル伝達の機構とその重要性を学ぶ。		
授業到達目標 / Course goals	細胞内シグナル伝達の機構とその変調や異常によるさまざまな疾患について、分子レベルで理解できる(DP1, 2, 3, 5)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および授業への貢献度(40%)、レポート(60%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学修: あらかじめ提示した関連学術論文を読む(2h)。 事後学修: 授業資料およびノートを中心に復習し、関連の学術論文にも目を通し、理解を深める(2h)。		
キーワード / Keywords	細胞内シグナル伝達、細胞運動、がん、ストレス応答、炎症、代謝、ミトコンドリア		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書: 細胞の分子生物学 第6版 (Newton Press)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)	授業は全て対面で行う。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。		
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	概説、ミトコンドリアのストレス感知機構と細胞応答 [武田]
第2回 10月9日	ストレス応答シグナルと炎症 [武田]
第3回 10月17日 (4校時)	細胞内シグナル伝達機構 (1) [浅野謙一 / 武田]
第4回 10月17日 (5校時)	細胞内シグナル伝達機構 (2) [武田]
第5回 10月23日	炎症誘導性細胞死の制御機構 [竹生田]
第6回 10月30日	細胞骨格と細胞膜のダイナミクス制御機構と細胞運動 [谷村]
第7回 11月6日	底生ザメを用いた新たな抗体製剤の開発 [谷村]
第8回 11月13日	ディープラーニングを活用したオルガネラ解析ツールの開発 [武田]

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514611412	科目番号 / Course code	55146114
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 51221_784		
授業科目名 / Course title	メディカルバイオ特論 / Medical Bioscience VIII		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 松久 幸司 / matsuhisa koji		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程(選択)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-kaneko@nagasaki-u.ac.jp (金子)		
担当教員研究室 / Office	薬学部本館4階 創薬薬理学研究室(金子・松久)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2421 (金子) 095-819-2473 (松久)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金 9:00-17:00、まずはメールにて質問を受付けます。(金子・松久)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	最先端の情報をオムニバス形式で種々のトピックスを紹介・講義する。それぞれの病態、疾患の基礎的理解や創薬アプローチ、最先端の研究成果や研究動向に至るまでの内容を講義することがねらいである。本講義は、分子レベルから個体レベルまでの生命現象の探求に必要な様々な最新技術を含めたホットな話題や研究展開および動向について解説する。		
授業到達目標 / Course goals	病態・疾患の基礎的理解を分子から細胞ネットワーク、個体レベルといったミクロからマクロまでの視点で概説できる基礎的能力が形成されるようになる。創薬研究についても学ぶことで、研究者・医療人としての視点も磨くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業に対する積極的な取り組み方ならびに授業への貢献度(50%) 講義に対するレポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: シラバスにしたがい、関連する内容についてあらかじめ調べてくる。(2時間) 事後学習: 講義の内容について、レポートにまとめ、疑問や調べたことを次回の講義までに明らかにする。(2時間)		
キーワード / Keywords	生活習慣病、認知症、がん、生理活性脂質、ナノマテリアル、創薬研究、バイオベンチャー		
教科書・教材・参考書 / Materials	LACSによる配布資料		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	3回以上の欠席は失格とします。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は原則として対面で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	出欠については、出席簿により確認する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（4/9）	認知症疾患と薬物療法・最近の動向【金子】対面
第2回（4/16）	血管性疾患と薬物療法・最近の動向 【松久】対面
第3回（4/23）	がん疾患と薬物療法・最近の動向【金子】対面
第4回（5/7）	生活習慣病と薬物療法・最近の動向【松久】対面
第5回（5/15：5校時）	哺乳類の性決定機構の解明に向けたゲノム編集によるアプローチ【高田】対面
第6回（5/21）	生理活性脂質と医薬への応用【金子】対面
第7回（5/28）	ナノマテリアルと医薬への応用【松久】対面
第8回（6/4）	新時代のバイオベンチャー（再生医療・細胞医療）【金子】対面

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514620213	科目番号 / Course code	55146202
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 52211_785		
授業科目名 / Course title	天然薬物資源学特論 / Medicinal Natural Product Chemistry II		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 耕史 / Yamada Koji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 耕史 / Yamada Koji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 耕史 / Yamada Koji, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1, 2 年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kyamada@nagasaki-u.ac.jp, maki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	山田耕史/創薬資源分子研究室(薬用植物園)、真木俊英/薬品構造解析学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2462(山田)、095-819-2465(真木)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講義では、薬用資源として有用な種々の生薬資源について解説し、それら資源が医薬品開発に重要な役割を果たしていることに理解を深める。また、バイオテクノロジーの応用による生薬資源の有用性の評価、資源の確保、品種改良法の原理を習得し、新しい薬用資源学とその役割について理解を深める。 更に、低分子有機化合物の具体的な構造解析に必須な測定法である、核磁気共鳴装置、質量分析装置について、その測定原理の概略を理解し、目的に応じて装置、測定技術を選択し、構造化学的考察に基づき、合理的な分子構造/物性などを推定する能力を身につける。		
授業到達目標 / Course goals	・植物、微生物、海洋生物に関する代表的な最新の研究内容を薬用資源の視点から説明できる(DP1, DP3)。 ・有用資源の確保と品種改良へのバイオテクノロジーの応用や、薬効評価の問題について概説できる(DP1)。 ・薬用資源の生命科学の解明のための応用利用や、医薬品として開発するために有効に利用する最新の話題について概説できる(DP1, DP2)。 ・自らの研究目的に応じて、適正な装置および測定法を選択できる(DP2, DP3)。 ・核磁気共鳴装置、質量分析装置についての測定原理の概略を説明できる(DP1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	「授業中およびLACS上での課題に対する積極的な取り組み状況30%、小テスト20%、レポート50%」		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：シラバスの授業計画にのっとり、各回に関連する項目をLACSにアップするので下調べする(2h)。 事後学習：毎回、学修した内容に関する課題を出すので、LACSにて提出すること(2h)。		
キーワード / Keywords	薬用植物、生薬資源、植物バイオテクノロジー、有機化学、分子構造、核磁気共鳴、質量分析		
教科書・教材・参考書 / Materials	化学者のためのNMR(1版)・Andrew/Derome著・化学同人、高分解能NMRテクニック・T.D.W.クラリッジ・講談社サイエンティフィック、分子の対称と群論入門・Alan Vincent著・丸善出版		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面で実施します。台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがあります。 状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	自らの研究に関連づけて理解を深めてください。関連する分野の最新の論文に目を通してください。 講義の後には、関連する項目をキーワード検索で調査し、情報を入手してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	天然薬物資源としての薬用植物（担当 山田）
第2回	天然薬物資源の有効成分 1（担当 山田）
第3回	天然薬物資源の有効成分 2（担当 山田）
第4回	天然薬物資源としての生薬資源の可能性（担当 山田）
第5回	分子の対称性とスペクトル（担当 真木）
第6回	FT-NMRの原理と応用、選択的分極移動、および2次元パルス法（担当 真木）
第7回	分子のダイナミクスと核オーバーハウザー効果（担当 真木）
第8回	質量分析法の選択：イオン化法の適用とフラグメント解析（担当 真木）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514620314	科目番号 / Course code	55146203
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 52121_785		
授業科目名 / Course title	天然薬物資源学特論 / Medicinal Natural Product Chemistry III		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	薬師寺 文華 / yakushiji fumika		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	薬師寺 文華 / yakushiji fumika		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	薬師寺 文華 / yakushiji fumika, 松尾 洋介 / Matsuo Yosuke, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	薬師寺文華: fyakushiji@nagasaki-u.ac.jp 齋藤義紀: saiyoshi@nagasaki-u.ac.jp 松尾洋介: y-matsuo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部3階 創薬資源分子研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2432 (薬師寺文華) 095-819-2433 (齋藤義紀) 095-819-2434 (松尾洋介)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月—金 10:30-17:00 (メールであらかじめアポイントを取ること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学部教育で学習した天然有機化合物について、それらの分布、分離法、構造決定法、機能性、産業的応用、合成などについてより高度なレベルで学習する。資料は英語で、必要に応じて英語で講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	天然有機化合物の生合成、分離法、構造決定法、合成についての知識の習得。それらを医薬品などの機能性素材として応用した事例を説明できる。 生命薬科学に関する幅広い基礎知識を修得している(DP1)。 自らが主体的に研究を遂行できる総合能力の基礎を身につけている(DP3)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	上記目標(DP)に対する達成度を各回の授業終了時の小テスト・演習・レポート(オンライン講義の場合はLACSでのテストや課題)の評価(累積した評価を80%)、及び授業への取り組み度(20%)で評価し、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: LACSの資料等を事前に目を通して講義に望むこと(2h) 事後学習: 毎回の復習、学修した内容に関する課題(2h)		
キーワード/Keywords	天然有機化合物、研究手法、生合成、ポリフェノール、テルペノイド、天然物合成、創薬化学、ケミカルバイオロジー		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: パートナー天然物化学(南江堂)、医薬品天然物化学(南江堂)など		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	天然物化学、有機化学、機器分析、生薬学、有機化学、ケミカルバイオロジーの基礎知識を有している		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施するが、必要な学生にはリアルタイムオンライン形式で実施する。連絡はLACSIにて行う。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	天然有機化合物はさまざまな分野で産業的応用が展開されています。医薬品や食品などの身近な天然有機化合物の性質について知り、そのさまざまな機能について学びます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回 4月11日	天然物の創薬における重要性と合成について [薬師寺]
第 2 回 4月18日	天然物を基盤とした創薬について [薬師寺]
第 3 回 4月25日	化合物を用いたエビジェネティクス制御ー 1 [薬師寺]
第 4 回 5月9日	化合物を用いたエビジェネティクス制御ー 2 [薬師寺]
第 5 回 5月16日	植物二次代謝産物の多様性とケモタキソノミー [齋藤]
第 6 回 5月23日	テルペノイドの構造と機能 [齋藤]
第 7 回 5月30日	天然資源の潜在的な二次代謝機能 [齋藤]
第 8 回 6月6日	天然有機化合物構造決定法（計算化学・円偏光二色性スペクトル） [松尾]

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2025/06/09 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514630415	科目番号 / Course code	55146304
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 53321_782		
授業科目名 / Course title	【Online】ヘルスサイエンス特論 / Health Science IV		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kishika@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬品分析化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2894		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月~金 13:00 ~ 14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	分子レベルにおける生命現象の解析を行う上で、その基本的情報を与える分析化学は極めて重要である。そこで、複雑なマトリックスから成る生体試料分析に必須の技術である各種分離分析に関して、生理活性物質や医薬品の高感度分析を例に取り、その理論および応用を理解させる。また、関連する最新の話題についても解説を行う。		
授業到達目標 / Course goals	1) 各種分離分析法の原理を理解し、それぞれの特徴を説明することができる(DP1)。 2) 試料の特性に応じて適切な分離手法を選択することができる(DP2)。 3) 最新の分離技術およびその応用について解説することができる(DP1)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☒ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	分離分析法の原理の説明・解説をできるか、さらに適切な分離分析法を選択できるかを評価の基準とする。達成度を、レポート内容(70%)、授業中の課題に対する積極的な取り組み状況(30%)により総合的に評価する。ただし、講義の30%以上を欠席した場合の評価はDとする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前: シラバスを参考にして、授業に関連する項目を分析化学の教科書により予習しておく。 事後: 授業内容に関連する学術論文を読み、内容をまとめる。		
キーワード / Keywords	分離分析, HPLC, CE, CEC, FIA, SIA, μ -TAS		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書: 1) 最新機器分析学(中澤裕之 監修) 南山堂. 2) 分離分析のための誘導体化ハンドブック(中村 洋 監訳) 丸善		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	学部程度の知識を習得していること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業はリアルタイムオンライン形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	各種分離分析技術に関して、学部講義レベルの基礎的知識を完全に身につけていること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6/9（月）	分離分析の概説と基礎理論（岸川・リアルタイムオンライン）
第2回 6/16（月）	分離分析の応用：環境分析への応用（岸川・リアルタイムオンライン）
第3回 6/23（月）	分離分析の応用：生体分析への応用（岸川・リアルタイムオンライン）
第4回 6/30（月）	キャピラリー電気泳動と電気クロマトグラフィーの基礎と応用（岸川・リアルタイムオンライン）
第5回 7/7（月）	キラル分離（岸川・リアルタイムオンライン）
第6回 7/14（月）	クロマトグラフィーの新展開（岸川・リアルタイムオンライン）
第7回 7/28（月）	信頼性の高い分析結果を得るために（巴山・対面）
第8回 8/4（月）	分離分析法のまとめと展望（岸川・リアルタイムオンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2025/11/27 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514630519	科目番号 / Course code	55146305
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 53121_782		
授業科目名 / Course title	ヘルスサイエンス特論 / Health Science V		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程生命薬科学専攻		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	鎌田瑠泉 / rkamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部4階 機能性分子化学研究室		
担当教員TEL/Tel	(直通)095 - 819-2438 (鎌田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金曜日 12:00～17:00 (メール予約制)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講義では、生命現象の根幹をなす分子間相互作用を定量的に理解し、ペプチド、タンパク質、核酸などの生体高分子の性質に関する知識を習得する。また、これら生体高分子と相互作用する低分子医薬品や診断技術、核酸医薬品などの高分子医薬品に関する基礎知識を習得する。 ・ 講義は英語で行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	分子間相互作用について列挙し、説明できる。(DP-1) タンパク質、核酸、糖などの生体高分子の構造を説明できる。(DP-1) 生体高分子と相互作用する医薬品を列挙できる。(DP-1) 核酸医薬などの高分子医薬品について説明できる。(DP-1) 生体高分子に関する先端の学術論文を読み、説明できる(DP-1, DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	到達目標を達成できたかどうかは、非常勤講師担当回に関する課題(30点) + 最終課題(40点) + 積極的な授業への取組み(30点)より判断する。合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：授業で取り扱う化学物質や生体高分子について、教科書や論文などで予習しておく。(2h) 事後学習：スライドやノートの復習を行う。講義の中で示された文献や書籍に目を通す。(2h)		
キーワード / Keywords	タンパク質、核酸、糖、分子間相互作用		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考図書：「生命とは何か―物理的にみた生細胞」エルヴィン・シュレーディンガー著 岩波文庫 参考資料：講義や課題で示す学術論文・雑誌		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	講義は、対面およびオンラインを組み合わせでの実施を予定している。 最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 コロナウイルス感染拡大の影響に応じて、授業形態（「対面形式」、「オンライン形式」あるいは併用）については事前にアナウンスを行う。
学生へのメッセージ/Message for students	あらかじめ関連学術論文を読んでおくこと
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回（11月27日）	生命と生体機能性高分子概説（鎌田） 実施方法：対面
第2回（12月4日）	タンパク質の構造と機能（1）（鎌田） 坂口和靖教授（北海道大学）による最先端講義 実施方法：対面
第3回（12月11日）	タンパク質の構造と機能（2）（鎌田） 実施方法：対面
第4回（12月18日）	タンパク質機能の制御（1）（鎌田） 実施方法：オンデマンド
第5回（1月8日）	タンパク質機能の制御（2）（鎌田） 実施方法：オンデマンド
第6回（1月15日）	タンパク質間相互作用と創薬（1）（鎌田） 実施方法：対面
第7回（1月29日）	タンパク質間相互作用と創薬（2）（鎌田） 実施方法：対面
第8回（2月5日）	タンパク質構造予測と創薬・最終試験（鎌田） 実施方法：対面

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514630616	科目番号 / Course code	55146306
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 53221_787		
授業科目名 / Course title	ヘルスサイエンス特論 / Health Science VI		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	鳥羽 陽 <toriba@nagasaki-u.ac.jp>, 安孫子 ユミ <yumi.abiko.11@nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室 / Office	衛生化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441(鳥羽)、095-819-2442(安孫子)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00 ~ 13:00(事前に、mailを入れてください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	保健衛生、化学物質の代謝、環境汚染といった広範な領域で、金属や有機物質をキーワードに焦点を絞り、内容を深く掘り下げた授業を行い、健康と環境に関する理解を高める。		
授業到達目標 / Course goals	・主に環境衛生、化学物質の代謝及び環境汚染の領域において、生体外から異物(毒物、医薬品)として取り込まれる有機物質の環境や体内での動態の基礎を説明できるようになる。(DP-1) ・環境由来の有機物質の先端研究手法について説明できるようになる。(DP-2) ・世界的な環境問題について理解し、その解決のための最新の動向について説明できるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	保健衛生、化学物質の代謝、環境汚染に関する最先端の知識を修得できるかを評価の基準とする。試験(40%)、講義中の演習等(60%) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 授業内容に関連する社会問題に関する新聞等の情報に注意を払う(2時間)。 事後学習: 授業内容に関する新聞等の情報を学習した視点で独自に考察を行なう(2時間)。		
キーワード / Keywords	環境汚染、環境マネジメント、代謝、大気汚染、有機汚染物質		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 第6版 衛生薬学 ―健康と環境― (丸善) 教材: LACSを介した資料の配布、もしくはプリント配布 参考書: スタンダード薬学シリーズ5 健康と環境(東京化学同人)、衛生薬学 ―健康と環境― (丸善)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特に無し		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面形式で実施する。 非常勤講師の都合により、決められた曜日と校時以外の日程で授業を行うことがある。また、台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	新聞には、健康と環境関連の記事が載らない日は無いと言っても言い過ぎではない。よって、新聞記事等の報道には普段から注意を払ってほしい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9/30, 1校時 鳥羽	主要な環境問題に関する概説（対面）
第2回 10/7, 1校時 鳥羽	大気汚染に関する概説（対面）
第3回 10/14, 1校時 鳥羽	有機汚染物質の分析事例（対面）
第4回 10/21, 1校時 安孫子	環境中電子受容体による内在性ROSの模倣（対面）
第5回 10/28, 1校時 安孫子	植物中親電子物質を用いた環境汚染物質の毒性軽減（対面）
第6回 11/11, 1校時 熊谷	環境ストレス応答（対面）
第7回 11/18, 1校時 安孫子	超硫黄分子による環境中親電子物質の捕獲（対面）
第8回 11/25, 1校時 鳥羽・安孫子	総合まとめ（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	2025514640317	科目番号 / Course code	55146403
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 54311_788		
授業科目名 / Course title	【Online】臨床応用薬学特論 / Clinical Applied Pharmacology III		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro, 川上 茂 / Kawakami Shigeru, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 大山 要 / Ohyama Kaname, 平山 達朗 / Hirayama Tatsuro, 向井 英史 / Mukai Hidefumi, 西田 孝洋 / Nishida Koyo		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程 1, 2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ktsuka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合教育研究棟7F・薬物治療学		
担当教員TEL/Tel	095-819-8573		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 9:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業のねらい：薬学研究者に必要な臨床薬学領域の最先端トピックスを講義することで、各自の研究テーマの位置付けや方向性を考察する判断材料を提供する。 授業方法：授業計画に沿ったオンデマンド教材(動画)で授業を進める。		
授業到達目標/Course goals	1. 分子イメージングやラジオセラノスティクスについて概略を説明できる。 2. レギュラトリーサイエンスの概要について説明できる。 3. 薬物移行評価法や薬物体内動態制御論について概略を説明できる。 4. 薬物デリバリーシステムについて概略を説明できる。 5. 病原微生物が薬剤耐性を獲得する機序について概略を説明できる。 6. プロテオーム解析について概略を説明できる。 7. 遺伝子診断や個別化医療について概略を説明できる。 (生命薬科学DP1-3, 5, 6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	担当教員から出される課題についてレポートを提出する。各レポートは100満点で採点され、その合計点数700満点を100点に圧縮して最終成績を算出する。60点以上を合格とする。 授業到達目標(1-7)ができるようになったかどうかは上記評価項目により総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	毎回動画の予習と復習およびレポート作成に4時間を費やすこと。		
キーワード/Keywords	ラジオセラノスティクス, レギュラトリーサイエンス, 薬物移行評価, 薬物デリバリーシステム, 再生医療, プロテオーム解析, 薬剤耐性, 遺伝子診断, 個別化医療		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席が2/3に満たない場合は失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業はオンデマンドで実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	常に自分の研究のヒントになる最新情報を入手するように心掛ける。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9/29	オンデマンド：ラジオセラノスティクスの基礎（向井）
第2回 10/6	オンデマンド：脂質ナノ粒子を用いたDDSと創薬（川上）
第3回 10/20	オンデマンド：薬物移行評価論：投与部位から全身循環・標的部位への移行とその評価法（西田）
第4回 10/27	オンデマンド：最先端DDS：インテリジェントDDS材料、再生医療、DDSの方法論（麓）
第5回 11/10	オンデマンド：病原微生物と薬剤耐性機構1（平山）
第6回 11/17	オンデマンド：プロテオーム解析：プロテオーム解析法の基礎（大山）
第7回 12/1	オンデマンド：遺伝子診断と個別化医療1（塚元）
第8回 12/8	オンデマンド：総括（塚元）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2025/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード / Time schedule code	20255514640418	科目番号 / Course code	55146404
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 54411_788		
授業科目名 / Course title	【Online】臨床応用薬学特論 / Clinical Applied Pharmacology IV		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro, 川上 茂 / Kawakami Shigeru, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 大山 要 / Ohyama Kaname, 平山 達朗 / Hirayama Tatsuro, 向井 英史 / Mukai Hidefumi, 西田 孝洋 / Nishida Koyo		
科目分類 / Course Category	講義科目(特論) / Lecture		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[薬学] 本館2F第2講義室 / The 2nd Lecture Room		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程 1, 2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ktsuka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合教育研究棟7F・薬物治療学		
担当教員TEL/Tel	095-819-8573		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 9:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業のねらい：薬学研究者に必要な臨床薬学領域の最先端トピックスを講義することで、各自の研究テーマの位置付けや方向性を考察する判断材料を提供する。 授業方法：授業計画に沿ったスライドやオンデマンド教材(動画)で授業を進める。		
授業到達目標/Course goals	1. 分子イメージングやラジオセラノスティクスの最近の動向について説明できる。 2. 医薬品開発における医療倫理・生命倫理の概要について説明できる。 3. 薬物体内動態制御論について概略を説明できる。 4. 遺伝子・核酸デリバリーシステムについて概略を説明できる。 5. 薬剤耐性菌が個人および社会に与える影響について説明できる。 6. プロテオーム解析について概略を説明できる。 7. 遺伝子診断や個別化医療について概略を説明できる。 (生命薬科学DP1-3, 5, 6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	担当教員から出される課題についてレポートを提出する。各レポートは100満点で採点され、その合 計点数700満点を100点に圧縮して最終成績を算出する。60点以上を合格とする。 授業到達目標(1-7)ができるようになったかどうかは上記評価項目により総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	毎回動画の予習と復習およびレポート作成に4時間を費やすこと。		
キーワード/Keywords	ラジオセラノスティクス, 医薬品開発, 医療倫理, 薬物体内動態, 遺伝子・核酸デリバリーシステ ム, プロテオーム解析, 薬剤耐性, 遺伝子診断, 個別化医療		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書の指定はない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	出席が2/3に満たない場合は失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業はオンデマンドで実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	常に自分の研究のヒントになる最新情報を入手するように心掛ける。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9/29	オンデマンド：ラジオセラノスティクスの最近の動向（向井）
第2回 10/6	オンデマンド：医薬品開発と医療倫理・生命倫理（川上）
第3回 10/20	オンデマンド：薬物体内動態制御論：ナノDDSを中心に解説する（西田）
第4回 10/27	オンデマンド：最先端DDS：遺伝子・核酸デリバリー（麓）
第5回 11/10	オンデマンド：病原微生物と薬剤耐性機構2（平山）
第6回 11/17	オンデマンド：プロテオーム解析：プロテオーム解析による疾患関連分子及びバイオマーカー探索（大山）
第7回 12/1	オンデマンド：遺伝子診断と個別化医療2（塚元）
第8回 12/8	オンデマンド：総括（塚元）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A1	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 細胞制御学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke, 谷村 進 / Tanimura Susumu		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takeda-k@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部4階細胞制御学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2417		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金 9:00-17:00 (メールで要予約: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の細胞制御学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、細胞制御学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習: ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。ま		
キーワード / Keywords	細胞内シグナル伝達、細胞運動、がん、ストレス応答、炎症、代謝、ミトコンドリア		
教科書・教材・参考書 / Materials	学術雑誌 参考書: 細胞の分子生物学 第6版 (Newton Press)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 対面方式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データベースの利用法や目的のデータの検索法を講義する。（対面）
第2回	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、手法を応用したりデータの利用法を講義する。（対面）
第3回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（1）（対面）
第4回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（2）（対面）
第5回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（3）（対面）
第6回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（4）（対面）
第7回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（5）（対面）
第8回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（6）（対面）
第9回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（7）（対面）
第10回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（8）（対面）
第11回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（9）（対面）
第12回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（10）（対面）
第13回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（11）（対面）
第14回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（12）（対面）
第15回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（13）（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A1	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：細胞制御学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武田 弘資 / TAKEDA Kosuke, 谷村 進 / Tanimura Susumu		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takeda-k@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部4階細胞制御学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2417		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・金 9:00-17:00 (メールで要予約: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における細胞制御学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。		
キーワード / Keywords	細胞内シグナル伝達、細胞運動、がん、ストレス応答、炎症、代謝、ミトコンドリア		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書： Molecular Cloning: A Laboratory Manual 4th Edition (CSH Press)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 対面方式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	< 1 年次 > 4 月 関連情報を収集、検討し、研究課題を決定する。
第2回	5 ~ 6 月 研究の遂行に必要となる基礎的な実験手法を習得する。
第3回	7 ~ 2 月 研究を遂行する。週 1 度の研究グループのミーティング、2 ~ 3 ヶ月に 1 度の研究室ミーティングで進捗状況の報告を行い、実験結果の考察および研究の進め方について議論する。(対面)
第4回	3 月 1 年次の研究結果をレポートとしてまとめ、2 年次の研究計画を立案する。
第5回	< 2 年次 > 4 ~ 1 2 月 研究を遂行する。週 1 度の研究グループのミーティング、2 ヶ月に 1 度の研究室ミーティングで進捗状況の報告を行い、実験結果の考察および研究の進め方について議論する。まとまった成果が得られた場合には、その内容を学会にて発表する。(対面)
第6回	1 ~ 3 月 引き続き実験を進めつつ、研究成果を論文としてまとめる。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A2	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 創薬薬理学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 松久 幸司 / matsuhisa koji		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程(必修)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-kaneko@nagasaki-u.ac.jp (金子)		
担当教員研究室 / Office	薬学部本館4階 創薬薬理学研究室(金子・松久)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2421 (金子) 095-819-2473 (松久)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・金 9:00-17:00 (金子・松久)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の創薬薬理学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、創薬薬理学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置付け、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習: ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。ま		
キーワード / Keywords	学術論文の検索、英語の学術論文、要約、発表		
教科書・教材・参考書 / Materials	学術雑誌(欧文誌、国内誌) データベース(PubMed)の利用		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html
学生へのメッセージ/Message for students	英語で書かれた原著論文2報以上を事前に読みまとめておくこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～15回	創薬学、薬理学の分野に関する最新の原著論文、および総説を読解し、その背景、実験手法、結果、考察についてまとめた物をプロジェクターを用いて発表させることで、学生自身の新しい見解を引き出し、その内容の意義、重要性、問題点等を理解させることを目的としている。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A2	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：創薬薬理学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 松久 幸司 / matsuhisa koji		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程(必修)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	m-kaneko@nagasaki-u.ac.jp (金子)		
担当教員研究室 / Office	薬学部本館4階 創薬薬理学研究室(金子・松久)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2421 (金子) 095-819-2473 (松久)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月・金 9:00-17:00 (金子・松久)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における創薬薬理学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。(0.5 h) 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。(0.5 h)		
キーワード / Keywords	特になし		
教科書・教材・参考書 / Materials	学術雑誌(欧文誌、国内誌) データベース(PubMed)の利用		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/indexj.html
学生へのメッセージ/Message for students	研究計画を事前に立て、ディスカッションし、計画的に実験を行うこと。実験のプロトコール、実験発案、並びに実験結果は、実験ノートに方法に従って正しく記載すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～15回	創薬薬理学分野における研究課題について、実験の立案、実験計画手法、実験の進行法、論理性について身につけることがねらいである。また、これらの成果を論文・学会発表することで、より幅広く、広い知識を身につけることも目的としている。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A3	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 薬化学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 正一 / Tanaka Masakazu, 上田 篤志 / Ueda Atsushi		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部3階 薬化学		
担当教員TEL / Tel	095-819-2423		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日16:00~18:00、他の時間の場合は連絡すること。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の薬化学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、薬化学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的位置付け、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習: ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。(0.5h)		
キーワード / Keywords	論文の検索、化合物の検索、英語の学術論文、要約、発表		
教科書・教材・参考書 / Materials	英語で書かれた学術雑誌、英和・和英辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	論文内容を鵜呑みすることなく、批判的に論文を読み自身の考えを取り入れてプレゼンテーションすることが大切である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-4回	目的の論文の検索方法、化合物の合成法や性質の検索方法を学習する
第5-8回	目的の論文の検索方法、化合物の合成法や性質の検索方法を学習する
第9-12回	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、データや実験方法の利用の仕方を学習する
第13-16回	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、データや実験方法の利用の仕方を学習する
第17-20回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（1）
第21-24回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（1）
第25-28回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（2）
第29-32回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（2）
第33-36回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（3）
第37-40回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（3）
第41-44回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（4）
第45-48回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（4）
第49-52回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（5）
第53-56回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（5）
第57-60回	研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（6）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A3	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：薬化学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 正一 / Tanaka Masakazu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 正一 / Tanaka Masakazu, 上田 篤志 / Ueda Atsushi		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部3階 薬化学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2423		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日16:00~18:00、他の時間の場合は連絡すること。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における薬化学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。		
キーワード / Keywords	アミノ酸、ペプチド、オリゴマー、触媒		
教科書・教材・参考書 / Materials	各種学術雑誌(原著論文、総説)、実験化学講座		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	オフィスアワー等を利用して実験結果を議論することが大切である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	アミノ酸、ペプチド、糖、天然物等の構造、合成法、機能化について学び、指導教員と討論する
第2回	指導教員との討論により新規な機能性分子等を設計し、実験計画を立てる
第3回	実験計画に関する文献調査を行い、それについて本実験への適応の可否を判定する
第4回	上記で得た知識を参考にして、設計した分子の機能化の計画を練りなおす
第5回	設計した分子の合成法に関する文献調査を行い、それぞれについて本実験への適応の可否を判定し、合成経路を考案する
第6回	入手容易な化合物から設計した分子の合成実験を実験計画へのフィードバックを行いながら行う
第7回	合成した分子は分離精製し、機器測定により構造を決定する行う
第8回	合成法の最適化と反応条件の精査をおこなう
第9回	更なる合成法の効率化をおこなう
第10回	標的化合物合成のスケールアップ化をおこなう
第11回	合成した標的分子は、機能（触媒、生理活性等）の評価解析を行う
第12回	機能（触媒、生理活性等）の評価解析の検証を行う
第13回	研究成果をまとめ、研究室の研究会で発表・討論する
第14回	得られた成果は、国内、国際学会等で発表（口頭、ポスター）する
第15回	成果を、英文論文等の投稿原稿にまとめる （第1～15回で720時間の実験を行う）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A4	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 薬品製造化学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jishi@nagasaki-u.ac.jp (石原)、hfukuda@nagasaki-u.ac.jp (福田)		
担当教員研究室/Office	薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426 (石原)、819-2427 (福田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語で書かれた生命薬科学の薬品製造化学分野(天然物合成)に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、薬品製造化学分野(天然物合成)における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標/Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。ま		
キーワード/Keywords	合成計画、合成戦略、選択的反応		
教科書・教材・参考書/Materials	各種学術雑誌(原著論文、総説)、データベース(SciFinder)の利用		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	原則的に、対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	基礎と応用をしっかりと把握し、説明すること
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データベースの利用法、目的の論文の検索方法、化合物の合成法や性質の検索方法を講義する
第2回	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、データや実験方法の利用の仕方を講義する
第3回	研究に関係する原著論文を選び、要約して報告し、質問を受け答える。これを10回行う

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A4	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：薬品製造化学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	石原 淳 / Ishihara Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	石原 淳 / Ishihara Jun, 福田 隼 / Hayato Fukuda, 小嶺 敬太 / Komine Keita		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jishi@nagasaki-u.ac.jp (石原)、hfukuda@nagasaki-u.ac.jp (福田)		
担当教員研究室 / Office	薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426 (石原)、819-2427 (福田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における薬品製造化学分野(天然物合成)における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。		
キーワード / Keywords	合成計画、合成戦略、選択的反応		
教科書・教材・参考書 / Materials	各種学術雑誌(原著論文、総説)、データベース(SciFinder)の利用		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	原則的に、対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	論理的な思考力を養い、研究を行うこと
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データベースを検索し、学術雑誌の論文を読み、標的化合物の情報を、実験の計画を立てる。
第2回	合成計画の基礎となる反応について、データベースを検索し学術雑誌の論文を読み、各種情報を解析し、合成ルートを決める。
第3回	多段階合成に必要なそれぞれの単位を構築するための基礎実験を行い。その結果に基づき、必要な単位を合成する。
第4回	中間発表会で研究の途中経過を報告する。実験結果を検討し討論する。
第5回	合成した各単位を結合し、合成中間体を組み立て、さらに標的化合物に導くべく合成変換を行う。
第6回	合成した化合物の性質を各種スペクトルデータに基づく解析から明らかにする。
第7回	研究室の研究会で発表し、研究室全体で討論する。
第8回	研究成果をまとめる。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A5	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 医薬品合成化学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	栗山 正巳 / Kuriyama Masami, 山本 耕介 / Yamamoto Kosuke		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkuriyam@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医薬品合成化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の医薬品合成化学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、医薬品合成化学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。 読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 英語原著論文を読んで内容を把握し、熟読・理解した後に発表原稿を作成する。 (0.5h) 事後学習: ディスカッションで指摘された箇所について調査・理解すると共に質問者へ回答する。 (0.5h)		
キーワード / Keywords	論文の検索、英語の学術論文、要約、発表		
教科書・教材・参考書 / Materials	欧文の雑誌(JACS, JOC, OL, Tetrahedron Letters, Angew. Chem. Int. Ed., Chem. Commun. 他) 英和・和英辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	英語で書かれた原著論文2報以上を事前に読みまとめておく。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施します。状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	論文の背景、基礎理論をしっかりと把握することが肝要である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
01-04	データベースの利用法や目的のデータの検索法を講義する（栗山、山本） 対面
05-08	英文で書かれた学術論文を読み、手法を応用し、データを利用する方法を講義する（栗山、山本） 対面
09-12	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（1）（栗山、山本） 対面
13-16	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（2）（栗山、山本） 対面
17-20	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（3）（栗山、山本） 対面
21-24	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（4）（栗山、山本） 対面
25-28	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（5）（栗山、山本） 対面
29-32	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（6）（栗山、山本） 対面
33-36	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（7）（栗山、山本） 対面
37-40	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（8）（栗山、山本） 対面
41-44	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（9）（栗山、山本） 対面
45-48	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（10）（栗山、山本） 対面
49-52	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（11）（栗山、山本） 対面
53-56	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（12）（栗山、山本） 対面
57-60	研究に関係する原著論文 1 報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（13）（栗山、山本） 対面

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A5	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：医薬品合成化学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	栗山 正巳 / Kuriyama Masami, 山本 耕介 / Yamamoto Kosuke		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mkuriyam@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医薬品合成化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における医薬品合成化学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案、手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答(10%)、修士論文の完成度(50%)、修士論文発表会の質疑応答(20%)、日常の研究に対する積極的な取り組み状況(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：研究テーマの意義付け、目標、効果について十分に理解するために、文献・テキストを利用するだけでなく、指導教員と十分に話し合うこと。 事後学習：問題点の抽出、改善のための施策を指導教員と十分に議論すること。		
キーワード / Keywords	合成法、比較検討、反応機構解析		
教科書・教材・参考書 / Materials	欧文の雑誌(JACS, JOC, OL, Tetrahedron Letters, Angew. Chem. Int. Ed., Chem. Commun., 他)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	有機化学の基礎知識を備えておくこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施します。状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	論理的に考え、実験することが大切である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	データベースを利用して合成法の情報を得た後に、学術雑誌の論文により情報を精査する（栗山、山本） 対面
2	論文から得られた情報により新経路の手法を考案し、合成実験の計画を立てる（栗山、山本） 対面
3	データベースにより関連した方法論について検索し、学術雑誌の論文により情報を精査する（栗山、山本） 対面
4	文献から得られた各種情報を分析し、各種合成法の中から3つの有望な方法を選択する（栗山、山本） 対面
5	選択した合成法の1つ目を検討する（栗山、山本） 対面
6	選択した合成法の2つ目を検討する（栗山、山本） 対面
7	選択した合成法の3つ目を検討する（栗山、山本） 対面
8	合成法1 - 3の実験結果を比較検討する（栗山、山本） 対面
9	研究室の報告会で討論することにより、最善の方法を選択する（栗山、山本） 対面
10	選択した合成法の一般性を確認する（栗山、山本） 対面
11	必要な化合物の物性データを取得する（栗山、山本） 対面
12	反応機構解析の実験を行う（栗山、山本） 対面
13	研究成果をまとめ、学会発表に向けて準備及び練習を行う（栗山、山本） 対面
14	学会発表を行うことにより、質問に対して受け答えする能力をつける（栗山、山本） 対面
15	研究成果を英語でまとめ、投稿原稿を作成する（栗山、山本） 対面

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A6	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : ゲノム創薬学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa, 城谷 圭朗 / Shirotani Keiro, 八田 大典		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iwata-n@nagasaki-u.ac.jp, keiroshiro@nagasaki-u.ac.jp, hattad@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部本館2階 ゲノム創薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	TEL 095-819-2435 (Iwata), 095-819-2436 (Shirotani), 095-819-2437 (Hatta)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日 9:00 - 17:00 (メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語で書かれた生命薬科学のゲノム創薬学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、ゲノム創薬学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置付け、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標/Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%) ・身に付けてほしい力(主体性)との関連から、レポート課題やプレゼンテーション課題等において、授業で取り上げた範囲を超えて関連する事柄についても自発的に調べたことに対して、高い評価点を加える。 ・身に付けてほしい力(考えをやり取りする力)との関連から、他者と意見交換する際に、自分の考えや意図をどのように工夫して伝えているか、逆に相手の意見が分かりにくい場合質問したり内容確認をしながら議論できているかも評価に加える。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習： テキストブック、LACSにアップまたは研究室内共用PCに保存した資料（論文pdf等）、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に専門用語や関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。 インターネットの情報収集の際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（0.5h） 事後学習： セミナーで学習した内容の要点をA4 1 枚にまとめる。また、理解できなかった箇所は、配布プリントやテキストブック等を使って明らかにするとともに、教員に質問し必ず解決すること。レポート課題があれば、速やかに対応すること。 インターネットの情報収集の際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（0.5h）
キーワード/Keywords	認知症、アルツハイマー病、神経変性疾患、ジスキネジア、神経病理、シナプス機能解析、遺伝子発現制御、疾患モデル動物、プロテアーゼ、遺伝子組換え、治療薬開発、診断マーカー
教科書・教材・参考書/Materials	NCBI PubMed データベース (http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez)、学術雑誌（J Biol Chem, J Neurosci, Neuron, Nature & its sister journals, Science, Cell & its sister journals等）、生化学辞典（東京化学同人）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	論理的な思考能力を養うことが大切です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データベース（PubMed等）の利用法と目的の論文の検索方法について講義する。（対面）
第2回	生物系データベース（DDBJ, PDB等）の利用法と目的情報の検索方法について講義する。（対面）
第3回	ワープロソフトによるプレゼンテーション用の配布資料の作成方法を解説する。（対面）
第4回	PowerPointによるプレゼンテーション用ファイルの作成方法を解説する。（対面）
第5回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第6回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第7回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第8回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第9回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第10回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第11回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第12回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第13回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第14回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）
第15回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする。（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A6	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：ゲノム創薬学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岩田 修永 / Iwata Nobuhisa, 城谷 圭朗 / Shirotani Keiro, 八田 大典		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	iwata-n@nagasaki-u.ac.jp, keiroshiro@nagasaki-u.ac.jp, hattad@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部本館2階 ゲノム創薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2435 (Iwata), 095-819-2436 (Shirotani), 095-819-2437 (Hatta)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金曜日 9:00 - 17:00 (メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ゲノム創薬学研究室では、1. アルツハイマー病の発症メカニズムの解明と予防・治療および診断法の確立、2. 真核細胞での翻訳調節メカニズムの解析、3. てんかん関連遺伝子PRRT2についての研究を基本テーマとしている。特別実験として個別の研究テーマを設定する。各研究テーマに沿った実験研究を行うことで、分野における専門的知識を学び、研究分野の歴史的背景、未解決の課題、研究の重要性を学び、創薬を目指した薬学研究の能力を身につけることをねらいにしている。また、医薬品の開発や自然科学において妥当な論理的思考の展開を行う能力を養う。授業の概要及び位置づけ：海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的に対する明確な結論を得るために、以下の能力を持つことが求められる。 (1) 研究倫理を正しく理解し、実行できるようになる。(DP5) (2) 研究目的および背景を正しく理解することができる。(DP1) (3) 必要な研究手法の原理を正しく理解して用いることができる。(DP2) (4) 実験結果を解析して、妥当な結論、考察を導くことができる。(DP3) (5) 研究分野における重要な研究課題を発見することができる。(DP3) (6) 英語でプレゼンテーション資料を作成し、研究成果を適切に伝えることができるようになる。(DP6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極な取り組み状況 20% ・身に付けてほしい力（汎用的能力）との関連から、問題を解決するために自ら情報を収集し、創意工夫が認められた際、高い評価点を加える。 ・身に付けてほしい力（協働性）との関連から、研究室内での活動において、他のメンバーと協力しながら物事を進展・達成できるか、もしくは他のメンバーに配慮した行動をとれるかも評価し、加点する。 ・身に付けてほしい力（考えをやり取りする力）との関連から、他者と意見交換する際に、自分の考えや意図をどのように工夫して伝えているか、逆に相手の意見が分かりにくい場合質問したり内容確認をしながら議論できているかも評価に加える。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習（10時間に設定されている回は2.5時間、5時間に設定されている回は1.25時間）：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。 事後学習（10時間に設定されている回は2.5時間、5時間に設定されている回は1.25時間）：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。
キーワード/Keywords	認知症、アルツハイマー病、神経変性疾患、ジスキネジア、神経病理、シナプス機能解析、遺伝子発現制御、疾患モデル動物、プロテアーゼ、遺伝子組換え、治療薬開発、診断マーカー
教科書・教材・参考書/Materials	NCBI PubMed データベース（ http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez ）、学術雑誌（J Biol Chem, J Neurosci, Neuron, Nature & its sister journals, Science, Cell & its sister journals等）、その他
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	論理的な思考能力を養うことが大切です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	実験室の配置、組換えDNA実験、動物実験規則や研究倫理、緊急時の対処方法等について指導する。(対面)
第2回	テーマに関連した最新の情報を収集し、実験計画についてディスカッションを行う。(対面)
第3回	遺伝子のクローニング方法や技術を学び、テーマとして設定した分子の遺伝子クローニングを試みる。(対面)
第4回	PCR法による遺伝子やDNAフラグメントの増幅法を学び、クローン化した遺伝子の発現ベクターへのサブクローニングを行う。(対面)
第5回	外来遺伝子の大腸菌での発現系を学び、クローン化した遺伝子の発現系の構築を行う。(対面)
第6回	外来遺伝子の動物細胞での発現系を学び、クローン化した遺伝子の発現系の構築を行う。(対面)
第7回	電気泳動やウエスタンブロット解析、免疫組織染色等の技術により、過剰発現またはノックダウンさせた分子の解析を行う。(対面)
第8回	大腸菌で過剰発現させたタンパク質の精製方法を学び、リコンビナントタンパク質を作製する。(対面)
第9回	中間発表用の資料を作成して、途中経過を報告し、質問に答える。(対面)
第10回	マウスなど実験動物への薬物投与法（皮下、腹腔内、静脈内、脳定位固定法による脳内および脳室内投与）を取得する。(対面)
第11回	遺伝子改変マウスの系統維持やジェノタイピング法について学ぶ。(対面)
	マウスから組織を摘出し、生化学的および組織化学的解析技術を取得する。(対面)
第13回	細胞及び組織に含まれる酵素の活性測定やタンパク質のウエスタンブロット法による定量的解析法を取得する。(対面)
第14回	明視野、蛍光顕微鏡または共焦点顕微鏡を用いた細胞及び組織染色標本の撮像と画像解析技術を取得する。(対面)
第15回	研究成果をまとめて、プレゼンテーション資料を作成し、学会発表を行って質問に答える。(対面)
第16回	研究成果を最終的にまとめ、修士論文の形に仕上げる。(対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	202555046102A7	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 先端創薬学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 義正 / Tanaka Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 義正 / Tanaka Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 義正 / Tanaka Yoshimasa		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ystanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医歯薬学総合教育研究棟(旧歯学部本館)6階 先端創薬イノベーションセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-7063		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日～金曜日 9:00～17:00(メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた先端創薬学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、先端創薬学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的位置付け、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%) ・身に付けてほしい力(主体性)との関連から、レポート課題やプレゼンテーション課題等において、授業で取り上げた範囲を超えて関連する事柄についても自発的に調べたことに対して、高い評価点を加える。 ・身に付けてほしい力(考えをやり取りする力)との関連から、他者と意見交換する際に、自分の考えや意図をどのように工夫して伝えているか、逆に相手の意見が分かりにくい場合質問したり内容確認をしながら議論できているかも評価に加える。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習： テキストブック、LACSにアップまたは研究室内共用PCに保存した資料（論文pdf等）、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に専門用語や関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。 インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（0.5h） 事後学習： セミナーで学習した内容の要点をA4 1 枚にまとめる。また、理解できなかった箇所は、配布プリントやテキストブック等を使って明らかにするとともに、教員に質問し必ず解決すること。レポート課題があれば、速やかに対応すること。 インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（0.5h）
キーワード/Keywords	自然免疫、適応性免疫、マクロファージ、樹状細胞、NK細胞、CD4陽性 α β T細胞、CD8陽性 α β T細胞、 γ δ T細胞、がん、免疫輸注療法、免疫チェックポイント、遺伝子、分子生物学
教科書・教材・参考書/Materials	NCBI PubMed データベース（ http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez ）、学術雑誌（Nature, Science, Cell等）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は全て対面で行う。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	科学的な思考能力を養うこと、語学力をつけることが大切です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自然免疫系に属する細胞について最新の情報を学ぶ。
第2回	自然免疫系に属する細胞を用いたがん免疫療法について最新の情報を学ぶ（1）。
第3回	自然免疫系に属する細胞を用いたがん免疫療法について最新の情報を学ぶ（2）。
第4回	適応性免疫に属する細胞について最新の情報を学ぶ。
第5回	適応性免疫に属する細胞を用いたがん免疫療法について最新の情報を学ぶ（1）。
第6回	適応性免疫に属する細胞を用いたがん免疫療法について最新の情報を学ぶ（2）。
第7回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（1）。
第8回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（2）。
第9回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（3）。
第10回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（4）。
第11回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（5）。
第12回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（6）。
第13回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（7）。
第14回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（8）。
第15回	研究に関連する学術論文1報を選び、要約してプレゼンテーションを行い、質問に応える。また質問をする（9）。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A7	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：先端創薬学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 義正 / Tanaka Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 義正 / Tanaka Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 義正 / Tanaka Yoshimasa		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ystanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合教育研究棟(旧歯学部本館)7階 先端創薬イノベーションセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-7063		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日 9:00 - 17:00(メールで要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	先端創薬学研究室では、1. ヒトγδT細胞の抗腫瘍作用の解析、2. ヒトNK細胞の抗腫瘍効果の解析についての研究を基本研究テーマとしている。特別実験として個別の研究テーマを設定する。各研究テーマに沿った実験研究を行うことで、分野における専門的知識を学び、研究分野の歴史的な位置付け、未解決の課題、研究の重要性を学び、創薬を目指した薬学研究の能力を身につけることをねらいとしている。また、医薬品の開発や自然科学において妥当な論理的思考の展開を行う能力を養う。 授業の概要及び位置づけ：海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標/Course goals	研究目的に対する明確な結論を得るために、以下の能力を持つことが求められる。 (1) 研究倫理を正しく理解し、実行できるようになる。(DP5) (2) 研究目的および背景を正しく理解することができる。(DP1) (3) 必要な研究手法の原理を正しく理解して用いることができる。(DP2) (4) 実験結果を解析して、妥当な結論、考察を導くことができる。(DP3) (5) 研究分野における重要な研究課題を発見することができる。(DP3) (6) 英語でプレゼンテーション資料を作成し、研究成果を適切に伝えることができるようになる。(DP6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20% ・身に付けてほしい力（汎用的能力）との関連から、問題を解決するために自ら情報を収集し、創意工夫が認められた際、高い評価点を加える。 ・身に付けてほしい力（協働性）との関連から、研究室内での活動において、他のメンバーと協力しながら物事を進展・達成できるか、もしくは他のメンバーに配慮した行動をとれるかも評価し、加算する。 ・身に付けてほしい力（考えをやり取りする力）との関連から、他者と意見交換する際に、自分の考えや意図をどのように工夫して伝えているか、逆に相手の意見が分かりにくい場合質問したり内容確認をしながら議論できているかも評価に加える。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：実験内容に関する英語原著論文複数を読んで原理を把握するとともに、配布されたプロトコルをよく読み込み、実験手順をあらかじめ把握する。 事後学習：実験中あるいは実験後の学生同士のディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。
キーワード/Keywords	自然免疫、適応性免疫、マクロファージ、樹状細胞、NK細胞、CD4陽性 $\alpha\beta$ T細胞、CD8陽性 $\alpha\beta$ T細胞、 $\gamma\delta$ T細胞、がん、免疫輸注療法、免疫チェックポイント、遺伝子、分子生物学
教科書・教材・参考書/Materials	NCBI PubMed データベース (http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez)、学術雑誌 (Nature, Science, Cell等)、プロトコル
受講要件（履修条件）/Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は全て対面で行う。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	科学的な思考能力を養うこと、語学力をつけることが大切です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
The first class	実験室の配置、実験装置の場所、試薬の場所や研究倫理、緊急時の対処方法等について指導する。
The second class	テーマに関連した最新の情報を収集し、実験計画についてディスカッションを行う。
The third class	腫瘍細胞培養技術を習得する(1)。
The fourth class	腫瘍細胞培養技術を習得する(2)。
The fifth class	ヒト $\gamma\delta$ T細胞の培養技術を習得する(1)。
The sixth class	ヒト $\gamma\delta$ T細胞の培養技術を習得する(2)。
The seventh class	ヒトNK細胞の培養技術を習得する(1)。
The eighth class	ヒトNK細胞の培養技術を習得する(2)。
The ninth class	ヒト $\gamma\delta$ T細胞による腫瘍細胞障害性を時間分解蛍光法で測定する技術を習得する(1)。
The tenth class	ヒト $\gamma\delta$ T細胞による腫瘍細胞障害性を時間分解蛍光法で測定する技術を習得する(2)。
The eleventh class	ヒト $\gamma\delta$ T細胞による腫瘍細胞障害性をLuc法で測定する技術を習得する(1)。
The twelfth class	ヒト $\gamma\delta$ T細胞による腫瘍細胞障害性をLuc法で測定する技術を習得する(2)。
The thirteenth class	ヒトNK細胞による腫瘍細胞障害性を時間分解蛍光法で測定する技術を習得する(1)。
The fourteenth class	ヒトNK細胞による腫瘍細胞障害性を時間分解蛍光法で測定する技術を習得する(2)。
The fifteenth class	ヒトNK細胞による腫瘍細胞障害性をLuc法で測定する技術を習得する(1)。
The sixteenth class	ヒトNK細胞による腫瘍細胞障害性をLuc法で測定する技術を習得する(2)。さらに、研究成果を最終的にまとめ、修士論文の形に仕上げる。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester		曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31			
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//	
時間割コード / Time schedule code	202555046102A8	科目番号 / Course code	55046102	
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783			
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : 神経回路生物学 / Task Research on Molecular Medicinal Sciences			
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有賀 純 / ARUGA Jun			
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有賀 純 / ARUGA Jun			
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有賀 純 / ARUGA Jun			
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)			
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar	
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Master course			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	Medical Pharmacology Basic Medical Science Building 4F Sakamoto			
担当教員TEL/Tel	095-819-7043			
担当教員オフィスアワー/Office hours	At any time by e-mail			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	To learn the neural circuit basis of neuropsychiatric and neurodevelopmental disorders.			
授業到達目標/Course goals	・To select appropriate research articles from journals and databases (DP-2, 3). ・To understand research articles in English (DP-4). ・To acquire how to present and discuss scientific data (DP-6).			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society			
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	The achievement level of the above-mentioned target is evaluated by following standards. Understanding (30%), materials (10%), presentation (30%), discussion (30%)			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Preparation: read and understand appropriate papers and summarize them. (0.5 h). Review: developing deep understanding of the papers and related problems discussed in them (0.5 h).			
キーワード/Keywords				
教科書・教材・参考書/Materials				
受講要件(履修条件) /Prerequisites				
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)				
備考 (URL) /Remarks (URL)				
学生へのメッセージ/Message for students				
授業計画詳細 / Course Schedule				
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents			
1st	Lecture on how to use databases and collect information			

2nd	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (1)
3rd	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (2)
4th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (3)
5th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (4)
6th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (5)
7th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (6)
8th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (7)
9th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (8)
10th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (9)
11th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (10)
12th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (11)
13th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (12)
14th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (13)
15th	Select an original article that is related to your research and summarize, report and discuss the results of the article. (14)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	20255066101A8	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：神経回路生物学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有賀 純 / ARUGA Jun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有賀 純 / ARUGA Jun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有賀 純 / ARUGA Jun		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Master course		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	aruga@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel	0958197043		
担当教員オフィスアワー / Office hours	At any time by e-mail		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	To learn neural circuit basis of higher brain function and the diseases of the central nervous system.		
授業到達目標 / Course goals	・ To plan and perform appropriate experiments to obtain data for publication in scientific journals (DP-1, 2, 3). ・ To obtain valid conclusions and discussion from experimental data (DP-3, 5).		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Active participation 80% and achievement 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	Preparation: read related research articles and understand own research themes and plans. Review: discuss with teachers and colleagues and consider how to solve problems and to advance research.		
キーワード / Keywords	neuron, glia, synapse, neurotransmitter, synaptic adhesion molecules, animal models of neurological disorders		
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites	None		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	All classes are held in person. In the event of unforeseen circumstances such as a typhoon resulting in university-wide class cancellations, make-up classes may be held on Saturdays.
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Select a research subject and make strategies for it.
2nd	Perform experiments and analyze the data from them.
3rd	Summarize the experimental results and discuss them.
4th	Present the results at a scientific meeting.

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046102A9	科目番号 / Course code	55046102
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61811_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学課題研究 : ウイルス感染症学 / Task Research on Molecular Medicinal		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	浦田 秀造 / Urata Shuzo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	浦田 秀造 / Urata Shuzo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	浦田 秀造 / Urata Shuzo		
科目分類 / Course Category	演習科目 (必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M1, M2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shuzourata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	高度感染症研究センター3F		
担当教員TEL / Tel	095-819-7988		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金、9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれたウイルス学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆に分かりやすく口頭発表できる能力を養う。このことより、ウイルス学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の元で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択すること (DP2, DP3)。英語で書かれた学術論文を正しく理解すること (DP4)。研究内容を正確に分かりやすく発表することができること (DP6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力、資料作成、解説、質疑応答各25%ずつ。 ・身に着けてほしい力 (主体性)との関連から、レポート課題やプレゼンテーション課題等において、授業で取り上げた範囲を超えて関連する事柄についても自発的に調べたことに対して、高い評価点を加える。 ・身に着けてほしい力 (考えをやりとりする力)との関連から、他社と意見交換する際に、自分の考えや意図をどのように工夫して伝えているか、逆に相手の意見が分かりにくい場合に質問することに加え、内容確認をしながら議論できているかも評価に加える。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・事前学習については自身の興味がある研究内容に関連した学術論文や資料を読んで予習する。インターネットで情報収集する際は信頼できる情報源（公的機関のウェブサイトが望ましい）を利用すること（1h）。 ・事後学習については、セミナーやゼミで学習した内容の要点を簡潔に他者に説明できるようになること。理解できなかった箇所は、種々の教科書や学術論文、ウェブサイト等を使って理解に努め、それでも不明な箇所は教員などに聞いて理解できるようにする（1h）。
キーワード/Keywords	ウイルス感染症、分子生物学、細胞生物学、ウイルス学、免疫学
教科書・教材・参考書/Materials	NCBI PubMed、各種学術雑誌
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	すべて対面で行う。 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	データベース（PubMed等）の利用法と目的の論文の検索方法について学ぶ。
第2回	研究テーマに関連した論文の検索方法について学ぶ。
第3回	Microsoft Wordを用いた資料作成方法を学ぶ。
第4回	Microsoft PowerPointを用いた発表資料作成方法を学ぶ。
第5-7回	研究に関する学術論文紹介を聴講し、内容の理解に努め、1つは質問する。
第8回	研究に関する学術論文を紹介する。
第9-14回	研究に関する学術論文紹介を聴講し、内容の理解に努め、1つは質問する。
第15回	研究に関する学術論文を紹介する。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066101A9	科目番号 / Course code	55066101
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 61911_783		
授業科目名 / Course title	分子創薬科学特別実験：ウィルス感染症学 / Experiment on Molecular Medicinal Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	浦田 秀造 / Urata Shuzo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	浦田 秀造 / Urata Shuzo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	浦田 秀造 / Urata Shuzo		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1, M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shuzourata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	高度感染症研究センター3F		
担当教員TEL/Tel	095-819-7988		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金、9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ウイルス感染症学では、高病原性ウイルスの1. 細胞内複製機構の分子生物学的解析、2. 抗ウイルス療法に繋がるワクチンや治療薬開発に資する基礎研究、3. ウイルス疫学研究等について研究を実施する。各研究テーマに沿った実験研究を行うことで、分野における専門的知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、研究の重要性を学び、ウイルス創薬を目指した薬学研究の能力を身に付ける。また、医薬品開発や自然科学研究において重要とされる論理的思考能力を養う。		
授業到達目標/Course goals	研究目的に対する明確な結論を得るために、以下の能力を持つことが求められる。 ・研究倫理を正しく理解し、実行できるようになる (DP5)。 ・研究目的及び背景を正しく理解することができる (DP1)。 ・必要な研究手法の原理を正しく理解して用いることができる (DP2)。 ・実験結果を解析して、妥当な結論、考察を導くことができる (DP3)。 ・研究分野における重要な研究課題を発見することができる (DP3)。 ・英語でプレゼンテーション資料を作成し、研究成果を適切に伝えることができるようになる (DP6)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会での質疑応答 20%、日常の研究に対する取り組み状況 20% ・身に着けてほしい力（汎用的能力）との関連から、問題を解決するために自ら情報を収集し、創意工夫が認められた際、高い評価点を加える。 ・身に着けてほしい力（協働性）：との関連から、研究室内での活動において、他のメンバーと協力しながら物事を進展・達成できるか、もしくは他のメンバーに配慮した行動をとれるかも評価し加える。 ・身に着けてほしい力（主体性）との関連から、レポート課題やプレゼンテーション課題等において、授業で取り上げた範囲を超えて関連する事柄についても自発的に調べたことに対して、高い評価点を加える。 ・身に着けてほしい力（考えをやりとりする力）：との関連から、他社と意見交換する際に、自分の考えや意図をどのように工夫して伝えているか、逆に相手の意見が分かりにくい場合に質問をするなど、内容確認をしながら議論できているかも評価に加える。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習については英語原著論文を複数読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成し、発表準備をする（2h）。 事後学習については、聴講者や教員に質問、指摘された箇所での不明点について調査し、理解を深める。また、専門分野における研究課題との関連性についても考える（2h）。
キーワード/Keywords	ウイルス感染症、分子生物学、細胞生物学、ウイルス学、免疫学
教科書・教材・参考書/Materials	NCBI PubMed、各種学術雑誌
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先（TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	すべて対面で行う。 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	実験室の配置、組換えDNA実験、動物実験規則、微生物の扱いについて学ぶとともに必要な学内講習を受講する。
第2回	研究テーマに関連した最新の情報を収集し、実験計画について議論する。
第3-7回	組換えDNA実験について学び、PCR法、電気泳動などを用いた遺伝子のクローニングを実践する。
第8回	中間発表用の資料を作成し、途中経過を報告し、質疑応答する。
第9-14回	タンパク質実験について学び、SDS-PAGE、ウェスタンブロット法などを実践する。
第15回	研究成果をまとめて、プレゼンテーション資料を作成し、発表を行い質疑応答する。
第16回	研究成果を最終的にまとめ、修士論文の形に仕上げる。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046302C1	科目番号 / Course code	55046302
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 63811_787		
授業科目名 / Course title	健康薬科学課題研究 : 機能性分子化学 / Task Research on Pharmaceutical Health Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	鎌田瑠泉 / rkamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬学部4階 機能性分子化学		
担当教員TEL/Tel	(直通) 095-819-2438 (鎌田)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金曜日 12:00～17:00 (メール予約制)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の機能性分子化学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、機能性分子化学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。 読解力(30点)、資料作成(10点)、解説(30点)、質疑応答(30点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習: 英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する(0.5h) 事後学習: ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。ま		
キーワード / Keywords	論文の検索、英語の学術論文、要約、発表		
教科書・教材・参考書 / Materials	欧文の雑誌、英和・和英辞書、生化学事典、理化学辞典・分析化学便覧・化学便覧		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	英語で書かれた原著論文2報以上を事前に読み理解し、日々実験結果をまとめておくこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(1) 実施形態：対面
第2回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(2) 実施形態：対面
第3回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(3) 実施形態：対面
第4回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(4) 実施形態：対面
第5回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(5) 実施形態：対面
第6回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(6) 実施形態：対面
第7回	研究に係る原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える(7) 実施形態：対面
第8回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(1) 実施形態：対面
第9回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(2) 実施形態：対面
第10回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(3) 実施形態：対面
第11回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(4) 実施形態：対面
第12回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(5) 実施形態：対面
第13回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(6) 実施形態：対面
第14回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(7) 実施形態：対面
第15回	研究結果を要約して報告し、質問を受け答える(8) 実施形態：対面
第16回	最終試験 実施形態：対面

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066301C1	科目番号 / Course code	55066301
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 63911_787		
授業科目名 / Course title	健康薬科学特別実験：機能性分子化学 / Experiment on Pharmaceutical Health Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 瑠泉 / Kamada Rui		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鎌田瑠泉/ rkamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部4階 機能性分子化学		
担当教員TEL/Tel	(直通) 095-819-2438 (鎌田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日 12:00～17:00 (メール予約制)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生体機能解析技術と生命解析についての研究を行い、個別的な指導により実験の立案、実施、実験結果の解析、問題解決等に関する能力を身につけさせることがねらいである。		
授業到達目標/Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答(10点)、修士論文の完成度(50点)、修士論文発表会の質疑応答(20点)、日常の研究に対する積極的な取り組み状況(20点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	学術雑誌、データベース		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	データの整理と考察。研究計画を事前に立てる。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	研究計画を立てる。
第2回	実験(1)
第3回	実験(2)
第4回	実験(3)
第5回	実験(4)
第6回	実験結果を解析し、諸問題を解決する方法を立てる。
第7回	実験(5)
第8回	実験(6)
第9回	実験(7)
第10回	実験(8)
第11回	実験結果をとりまとめ、研究報告を行い、討論する。
第12回	研究成果を学会発表する。
第13回	研究成果を学術雑誌に発表する。
第14回	全ての研修成果を修士論文としてとりまとめる。
第15回	修士論文を作成する。
第16回	修士論文発表会

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	202555046302C2	科目番号 / Course code	55046302
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 63811_787		
授業科目名 / Course title	健康薬科学課題研究 : 衛生化学 / Task Research on Pharmaceutical Health Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鳥羽 陽 <toriba@nagasaki-u.ac.jp>、安孫子 ユミ <yumi.abiko.11@nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室/Office	薬学部5階 衛生化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441(鳥羽)、095-819-2442(安孫子)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 10:30-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語で書かれた生命薬科学の衛生化学分野に関する学術論文を読み読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解したうえで、聴衆に分かりやすく口頭発表できる能力を養う。このことより、衛生化学分野における専門的知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、研究の重要性を学ぶ。セミナー方式などにより教員による指導を行い、質問・議論などのアクティブラーニングを取り入れる。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標/Course goals	・必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) ・英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) ・内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。ま		
キーワード/Keywords	英語の学術論文、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Materials	欧文の雑誌(環境系の国際誌、他)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特に無し		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	個々に伝達します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 鳥羽	自分の研究課題に関係する最新の英語の原著論文を選択し、その内容をまとめてプレゼンテーションし、質疑応答を行う。
第2回 4月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 学術雑誌から、直近のトピックスを紹介する。
第3回 5月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 自分の研究課題の進捗状況を要約してプレゼンテーションし、討論する。
第4回 6月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。
第5回 6月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 学術雑誌から、直近のトピックスを紹介する。
第6回 7月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 自分の研究課題の進捗状況を要約してプレゼンテーションし、討論する。
第7回 8月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。
第8回 9月 鳥羽	自分の研究課題に関係する最新の英語の原著論文を選択し、その内容をまとめてプレゼンテーションし、質疑応答を行う。
第9回 9月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 自分の研究課題の進捗状況を要約してプレゼンテーションし、討論する。
第10回 10月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 学術雑誌から、直近のトピックスを紹介する。
第11回 11月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。
第12回 12月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 自分の研究課題の進捗状況を要約してプレゼンテーションし、討論する。
第13回 1月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 学術雑誌から、直近のトピックスを紹介する。
第14回 2月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。
第15回 3月 鳥羽	他のメンバーの論文紹介や研究報告における討論に参加し、他者の研究課題に対する把握力を高めるとともに、スキルを習得する。 自分の研究課題の進捗状況を要約してプレゼンテーションし、討論する。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	16.0 / /
時間割コード / Time schedule code	202555066301C2	科目番号 / Course code	55066301
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 63911_787		
授業科目名 / Course title	健康薬科学特別実験：衛生化学 / Experiment on Pharmaceutical Health Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 安孫子 ユミ / Abiko Yumi		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	鳥羽 陽 <toriba@nagasaki-u.ac.jp>、安孫子 ユミ <yumi.abiko.11@nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室 / Office	薬学部5階 衛生化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441(鳥羽)、095-819-2442(安孫子)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月-金 10:30-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における衛生化学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	・研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) ・適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) ・研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。		
キーワード / Keywords	文献検索、化学物質の安全取り扱い、化学合成、生物学的分析手法、機器分析、大気汚染モニタリング手法		
教科書・教材・参考書 / Materials	一般学術雑誌、専門学術雑誌、各種データベース		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特に無し		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	個々の実験中に伝達します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～3回 4, 5月 鳥羽	文献調査の手法、化学物質の取り扱い、化学合成の基本特性の理解、分析手法の基礎の理解、化学物質を安全かつ有効に 取り扱う技能を習得する。
第4～6回 6月 鳥羽	生物学的分析手法、分析機器の使用法、環境試料の捕集方法などに習熟する。
第7～9回 7～9月 鳥羽	実験技術の向上度を顕彰する。
第10～12回 10～12月 鳥羽	実験データの解析法を習得する。
第13～15回 1～3月 鳥羽	実験データの解析結果等を英語で記述する能力を養う。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046302C3	科目番号 / Course code	55046302
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 63811_787		
授業科目名 / Course title	健康薬科学課題研究 : 薬品分析化学 / Task Research on Pharmaceutical Health Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kishika@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬品分析化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2894		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金 12:00～14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた学術論文や総説等を読み、読解力を養成するとともに最新の情報を習得する。また、論文の要点等についての確にプレゼンテーションするための技術を身につける。海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	・ 必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) ・ 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) ・ 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。(0.5h)		
キーワード / Keywords	英語学術論文、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	欧文雑誌 (Anal. Sci; Anal. Chim. Acta; J. Chromatography A,B; Talanta など)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	基本的な英語の読解力やコミュニケーション能力を有していること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	研究の遂行に必要な情報収集能力、理解力、プレゼンテーション能力を身につけて欲しい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 （2h/回）（2年間）	種々のデータベースを利用して目的のデータを的確に取得するための検索法を講義する
第2回	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、データや手法の利用法を講義する
第3回	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、その内容を的確に説明するためのプレゼンテーション法を講義する
第4回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（1）
第5回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（2）
第6回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（3）
第7回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（4）
第8回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（5）
第9回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（6）
第10回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（7）
第11回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（8）
第12回	研究に関する原著論文1報を選び、要約して報告し、質疑応答を行う（9）
第13回	研究に関する原著論文2報以上を選んで要約し、体系的に報告し、質疑応答を行う（1）
第14回	研究に関する原著論文2報以上を選んで要約し、体系的に報告し、質疑応答を行う（2）
第15回	研究に関する原著論文2報以上を選んで要約し、体系的に報告し、質疑応答を行う（3）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066301C3	科目番号 / Course code	55066301
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 63911_787		
授業科目名 / Course title	健康薬科学特別実験：薬品分析化学 / Experiment on Pharmaceutical Health Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岸川 直哉 / Kishikawa Naoya		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kishika@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬品分析化学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2894		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金 13:00～14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	健康薬科学に必要な不可欠な生体及び環境試料の分析技術は近年著しく進展し、複雑化してきている。将来、環境薬科学領域での研究者を志す者が、必要に応じて分離手段や検出手段を駆使し、独自で分析法を考案し、問題を解決する能力を身につける。		
授業到達目標 / Course goals	・研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) ・適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) ・研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。(1h) 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。(1h)		
キーワード / Keywords	生体・環境試料取り扱い、実験計画の策定・遂行、結果報告		
教科書・教材・参考書 / Materials	学術雑誌 (Anal. Sci; Anal. Chim. Acta; J. Chromatogr. A,B; Talantaなど) 最新機器分析学 (中沢裕之 監修, 南山堂) Modern Derivatization Methods for Separation Sciences (Wiley)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	専門領域の最新情報を把握するために、データベースを検索し、必要な学術雑誌を読む
第2回	分析試料の取扱い方や処理法を学ぶ
第3回	分析試料の調製法や取扱い方を学ぶ
第4回	生体及び環境試料分析に必要な各種分離法を学ぶ
第5回	生体及び環境試料分析に必要な各種検出法を学ぶ
第6回	既報の論文情報やこれまでに得た知識を活用し、実験計画を立てる
第7回	各種分析法を駆使して、実験を遂行する
第8回	研究経過を適宜、教室内などで発表し、討論を行うことで課題発見や問題解決能力を養う
第9回	得られた実験結果を適切に処理し、解析を行う
第10回	研究結果を研究室の報告会用の配布資料としてまとめ、研究発表資料の作成能力を養う
第11回	研究結果をまとめ、研究室の報告会で発表し、討論やプレゼンテーションに関する能力を養う
第12回	研究成果を学会発表用のスライドあるいはポスターを作成、学外の研究者へのプレゼンテーション実施に関する能力を養う
第13回	研究成果をまとめ、学会発表を行うことで、的確な質疑応答能力を養う
第14回	英語論文作成のための図表を英語で作成し、英語論文の作成能力を養う
第15回	研究成果を英語でまとめることで、英語論文の作成能力を養う

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046202B1	科目番号 / Course code	55046202
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 62811_785		
授業科目名 / Course title	天然薬物資源学課題研究 : 創薬資源分子 / Task Research on Medicinal Natural Product Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	薬師寺 文華 / yakushiji fumika		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	薬師寺 文華 / yakushiji fumika		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	薬師寺 文華 / yakushiji fumika, 山田 耕史 / Yamada Koji, 松尾 洋介 / Matsuo Yosuke, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	薬師寺文華: fyakushiji@nagasaki-u.ac.jp 齋藤義紀: saiyoshi@nagasaki-u.ac.jp 松尾洋介: y-matsuo@nagasaki-u.ac.jp 山田耕史: kyamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部3階・附属薬用植物園1階 創薬資源分子		
担当教員TEL/Tel	095-819-2432 (薬師寺文華) 095-819-2433 (齋藤義紀) 095-819-2434 (松尾洋介) 095-819-2462 (山田耕史)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・金 9:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	研究テーマに関連する英語で書かれた天然有機化合物、ケミカルバイオロジー、創薬化学に関する学術論文を読み読解力を身につけるとともに、重要な引用文献も調べて研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解したうえで、聴衆に分かりやすく口頭発表できる能力を養う。このことより、創薬資源分子分野における専門的知識を学び、研究分野の歴史的な位置付け、未解決の課題、研究の重要性を学ぶ。また、他の研究室員の発表に対しては積極的に質問し議論することで各自の研究者としての総合的な能力をみがく。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標/Course goals	・専攻分野の学術論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができる。(DP-2, DP-3) ・英語で書かれた学術論文を正しく理解できる。(DP-4) ・内容を正確に分かりやすく発表することができる。(DP-6) ・専攻分野における未解決の研究課題を発見できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。 読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。（0.5h） 事後学習：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。（0.5h）
キーワード/Keywords	英語学術論文、プレゼンテーション、分離、構造解析、有機化学、ケミカルバイオロジー
教科書・教材・参考書/Materials	欧文雑誌（J.Nat. Prod., Phytochemistry, J. Agric. Food. Chem., J. Nat. Med., JACS, Angew. Chem. Int. Ed. など） 参考：和文雑誌（薬学雑誌やファルマシアなど）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	天然物化学、有機化学、機器分析、生薬学、ケミカルバイオロジーの基礎知識を有している
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施するが、必要な場合は事前に連絡の上でオンラインで実施する場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	学術論文を読むことで天然物化学の方法論を学び、自分の研究に反映させる。さらに、積極的に質問し議論することで批判能力や問題解決能力などを身に付ける。日本語の学術論文や総説から論文の文章をまねることも論文執筆に向けて重要である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	（下記 1 回～15 回をテーマを変えながら 2 年間繰り返す。） 創薬資源分子分野の学術論文での情報収集方法について学ぶ
第 2 回	自分の研究に関連する英文で書かれた学術論文を検索し、選択する。
第 3 回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（1）[全担当教員]
第 4 回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（2）[全担当教員]
第 5 回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（3）[全担当教員]
第 6 回	研究成果の解説と、質疑応答（1）
第 7 回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（4）[全担当教員]
第 8 回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（5）[全担当教員]
第 9 回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（6）[全担当教員]
第10回	研究成果の解説と、質疑応答（2）
第11回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（7）[全担当教員]
第12回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（8）[全担当教員]
第13回	英語学術論文を読み、セミナーで解説し、質疑応答を行う（9）[全担当教員]
第14回	研究成果の解説と、質疑応答（3）[全担当教員]
第15回	研究成果の解説と、質疑応答（4）[全担当教員]

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066201B1	科目番号 / Course code	55066201
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 62911_785		
授業科目名 / Course title	天然薬物資源学特別実験：創薬資源分子 / Experiment on Medicinal Natural Product Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	薬師寺 文華 / yakushiji fumika		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	薬師寺 文華 / yakushiji fumika		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	薬師寺 文華 / yakushiji fumika, 松尾 洋介 / Matsuo Yosuke, 齋藤 義紀 / Saito Yoshinori		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	薬師寺文華: fyakushiji@nagasaki-u.ac.jp 齋藤義紀: saiyoshi@nagasaki-u.ac.jp 松尾洋介: y-matsuo@nagasaki-u.ac.jp 山田耕史: kyamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部3階・附属薬用植物園1階 創薬資源分子		
担当教員TEL/Tel	095-819-2432 (薬師寺文華) 095-819-2433 (齋藤義紀) 095-819-2434 (松尾洋介) 095-819-2462 (山田耕史)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生命薬科学における創薬資源分子分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標/Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適切な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文等を SciFinder で検索して読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。(1h) 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。(1h)		
キーワード/Keywords	分離、天然有機化合物、クロマトグラフィー、構造解析、有機化学、ケミカルバイオロジー		

教科書・教材・参考書/Materials	天然物化学、機器分析学一般、有機化学、ケミカルバイオロジー
受講要件（履修条件）/Prerequisites	天然物化学、有機化学、機器分析、生薬学、有機化学、ケミカルバイオロジーの基礎知識を有している
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	対面で実施するが、必要な場合は事前に連絡の上でオンラインで実施する場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	目的をしっかりと理解して、関連する学術論文（英語・日本語）を良く読み、教官や共同研究者とのコミュニケーションをとりながら、研究に取り組む。また、プレゼンテーションや論文執筆では、十分に時間をかけて準備をし、論理的に説明する能力を身に着ける。これらは社会に出て貢献するために非常に重要である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	研究目的に沿って情報収集し、実験計画を立てる。
第 2 回	材料を選択し採集し抽出する。あるいは、計画に沿って反応操作を実践する。
第 3 回	抽出物、あるいは反応混合物の処理を実践する。
第 4 回	混合物の溶媒分配等での分画操作の実践。
第 5 回	カラムクロマトグラフィーによる分離とTLCによる検出（1）
第 6 回	カラムクロマトグラフィーによる分離とTLCによる検出（2）
第 7 回	各種分光スペクトルの測定と解析（1）
第 8 回	研究の進捗を議論して方向性を確認する。
第 9 回	カラムクロマトグラフィーによる分離とTLCによる検出（3）
第10回	カラムクロマトグラフィーによる分離とTLCによる検出（4）
第11回	各種分光スペクトルの測定と解析（2）
第12回	結果を整理し、議論しながら、総括する（1）
第13回	結果を整理し、議論しながら、総括する（2）
第14回	結果を整理し、意義づけを行い、プレゼンテーションおよび論文としてまとめる（1）
第15回	結果を整理し、意義づけを行い、プレゼンテーションおよび論文としてまとめる（2）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046202B3	科目番号 / Course code	55046202
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 62811_785		
授業科目名 / Course title	天然薬物資源学課題研究 : 薬品構造解析学 / Task Research on Medicinal Natural Product Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬品構造解析学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2465		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語で書かれた学術論文を読み読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解したうえで、聴衆に分かりやすく口頭発表できる能力を養う。このことより、専攻分野における専門的知識を学び、研究分野の歴史的な位置付け、未解決の課題、研究の重要性を学ぶ。海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標/Course goals	要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択でき、英語で書かれた学術論文を正しく理解できる(DP-4・6)。 英語で書かれた学術論文を正しく理解でき、内容を正確に分かりやすく発表することができる(DP-1・4)。 専攻分野における未解決の研究課題を発見できる(DP-1・6)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	研究論文の読解力100% 学術論文の内容を把握し、要約を正しく説明できるか。研究方法を正しく説明できるか。研究結果を正しく説明できるかを評価の基準とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容/Preparation & Review	報告前には、質問を想定し明確に回答できるように準備する。(0.5h) 報告後には、回答が不明確であった質問に対しては改めて調べ直し質問者に回答する。(0.5h)		
キーワード/Keywords	有機化学、合成、分析、構造解析		
教科書・教材・参考書/Materials	教材：関連する欧文の原著論文など		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	英語で書かれた原著論文2報以上を事前に読みまとめておく。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 対面で実施 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム： http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	分析機器の利用機会、学会での発表機会を積極的に活用してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	対面で実施 データベースの利用法や目的のデータの検索法を講義する（真木）
第2回	対面で実施 英文で書かれた学術論文を読み、手法を応用し、データの利用法を講義する（真木）
第3回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第4回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第5回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第6回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第7回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第8回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第9回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第10回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第11回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第12回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第13回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第14回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）
第15回	対面で実施 研究に関係する原著論文1報を選び、要約して報告し、質問を受け答える（真木）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066201B3	科目番号 / Course code	55066201
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 62911_785		
授業科目名 / Course title	天然薬物資源学特別実験：薬品構造解析学 / Experiment on Medicinal Natural Product Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	真木 俊英 / Maki Toshihide		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	maki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	薬品構造解析学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2465		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	新しい医薬品探法の開発を目的として、機能性有機分子の設計と合成、化学構造式の解明、化学反応解析を行う。特に、有機分子の構造解析と機能解析について検討を行い、望みの機能を合理的に設計し、合成するための基礎的な知識、技術を育成する。また、医薬品探索へむけた応用法の開発を目指す。そのために必要な実験の立案、実施、実験結果の解析、考察方法を個別に指導し、さらにその研究結果を学会・学術雑誌等で公表するための指導を行い、研究を行う能力を育成する。		
授業到達目標 / Course goals	創薬化学に関する有機合成、構造解析、分析化学の基本的専門的知識と技術を研究に応用することが出来る。身につけた知識や経験を統合利用し、問題解決に取り組むことができる。自主的、継続的に研究を進めることができる。与えられた条件下で、計画的に研究を進め、結果をまとめることができる(DP-2・5)。 反応生成物を精製し、各種機器を用い構造解析できる(DP-2・3)。 研究結果を学術雑誌に投稿するため英語でまとめ原稿を作成できる(DP-4・6)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究に対する理解度・達成度を、修士論文、レポート、中間報告会、修士論文発表会の内容(60%)、及び日常の研究状況(40%)により総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前に研究テーマの意義付け、目標、効果について十分に理解するために、文献・テキストを利用するだけでなく、指導教員と十分に話し合うこと。事後には問題点の抽出、改善のための施策を指導教員と十分に議論すること。		
キーワード / Keywords	有機化学、合成、分析、構造解析		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材：関連する原著論文など		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	有機化学の基礎的な知識を確認しておくこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 対面で実施 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム： http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	分析機器の利用機会、学会での発表機会を積極的に活用してください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	対面で実施 化学物質の情報を得るため、データベースを検索し学術雑誌の論文を読む。
2回目	対面で実施 既報の論文より得られる情報組み合わせ、目的物の合理的な合成手順を考案し、合成実験の計画を立てる。
3回目	対面で実施 目的化合物の合成、構造解析 目的化合物の合成・精製・構造解析を行う。
4回目	対面で実施 研究テーマを設定し、標的分子の設計と合成計画の立案を行う。
5回目	対面で実施 分子機能解析と反応解析 合成した分子の機能を解析し構造と機能との相関についての説明を行う。 発表形式による研究中間発表会を行う。また、1年間の研究結果を資料としてまとめて、提出する。
6回目	対面で実施 得られた化合物の機能性の評価 合成した機能性分子を利用して、新しい医薬品探索法の設計と探索実験を行う。
7回目	対面で実施 分子の構造に着目し、分子構造と機能を関連づける因子についての仮説をたてる。
8回目	対面で実施 仮説を裏付ける分子のデザインを行い、合成計画を立案する。
9回目	対面で実施 合成反応の実施・精製を行った後、各種スペクトルデータを収拾し、分子構造を確認する。
10回目	対面で実施 物性データの収集と、構造機能相関の確認、仮説の検証を行う。
11回目	対面で実施 合成ルートの見直し、収率、および効率の改善を行うとともに、類縁体の合成を行う。
12回目	対面で実施 一連の化合物の物性データの比較を行い、最終的な機能に対する分子構造因子を明らかにする。
13回目	対面で実施 仮説を補強する実験データの収集（合成、および測定）
14回目	対面で実施 仮説を補強する実験データの収集（合成、および測定）
15回目	対面で実施 研究成果を英語でまとめ投稿原稿を作成する。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046402D1	科目番号 / Course code	55046402
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 64811_788		
授業科目名 / Course title	臨床薬学課題研究 : 薬物治療学 / Task Research on Clinical Pharmacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro, 平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程・1, 2年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ktsuka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医歯薬学総合教育研究棟7F・薬物治療学		
担当教員TEL / Tel	095-819-8573		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金 9:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	授業のねらい：英語で書かれた生命薬科学のゲノム医科学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。また、海外で開催される学会あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。 授業方法：自ら読んで理解した英語研究論文を教員や研究室全員の前でプレゼンテーションし、その後の質疑に回答してもらう。		
授業到達目標 / Course goals	1. 自らの研究に関連する英語研究論文を学術雑誌やPubMed等のデータベースから正しく選択できる。(生命薬科学DP2,3) 2. 英語研究論文を正しく理解できる。(生命薬科学DP4) 3. 自分で理解したことやまとめたことをわかりやすく発表することができる。(生命薬科学DP6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 主体性 / Autonomy □ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	□ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	英語論文の読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)で評価する。 授業到達目標(1-3)ができるようになったかどうかは上記評価項目(1-3)により総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	英語論文の事前の準備および事後の復習が必要である(1時間以上)。		
キーワード / Keywords	英語の研究論文, PubMedデータベース, 思考力, プレゼンテーション, 討論		
教科書・教材・参考書 / Materials	英語の学術雑誌 (Nature/Genet/Nature/Science/Hum Mol Gnet/Genomics/Am J Hum Genetics), 英和・和英辞書, 医学大事典, 生化学辞典		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	常に自分の研究に関する最新情報を入手するように心掛ける。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	対面：PubMedやゲノム関連のデータベースの利用法や検索法を学ぶ。
第2回	対面：英文で書かれた研究論文の構成と特徴を学ぶ。
第3回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （1）
第4回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （2）
第5回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （3）
第6回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （4）
第7回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （5）
第8回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （6）
第9回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （7）
第10回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （8）
第11回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （9）
第12回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （10）
第13回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （11）
第14回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （12）
第15回	対面：自らの研究に関連する英語研究論文1編を要約してプレゼンテーションし、質問に回答する。 （13）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0, 日 / Sun 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	20255066401D1	科目番号 / Course code	55066401
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 64911_788		
授業科目名 / Course title	臨床薬学特別実験：薬物治療学 / Experiment on Clinical Pharmacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro, 平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程・1, 2年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ktsuka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医歯薬学総合教育研究棟7F・薬物治療学		
担当教員TEL / Tel	095-819-8573		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金 9:00～17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	授業のねらい：生命薬科学におけるゲノム医科学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。 授業方法：指導教員の指導のもとで研究テーマに関する文献調査を行って実験計画を立案、遂行する。この過程で研究の進め方、発表方法、科学論文の書き方を習得する。		
授業到達目標 / Course goals	1. 研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(生命薬科学DP1-3) 2. 適当な手法と解析を行うことができる。(生命薬科学DP1-3) 3. 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(生命薬科学DP3,5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間発表と質疑応答(10%)、修士論文の完成度(50%)、修士論文発表会の質疑応答(20%)、日常の研究に対する積極的な取り組み状況(20%)で評価する。 授業到達目標(1-3)ができるようになったかどうかは上記評価項目により総合評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	毎日データを整理し、常に考察を考えること(毎日1時間以上)。		
キーワード / Keywords	候補遺伝子アプローチ法、遺伝子多型、相関解析、疾患感受性遺伝子、治療感受性遺伝子		
教科書・教材・参考書 / Materials	ワトソン 遺伝子の分子生物学、学術雑誌(Nature Genet/Nature/Science/Hum Mol Gnet/Genomics/Am J Hum Genetics)、ゲノムデータベース(OMIM/PubMed/GenBank)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	常に自分の研究に関する最新情報を入手するように心掛ける。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	対面：組織や末梢血からDNAやRNAを抽出する。
第2回	対面：候補遺伝子を選抜し、ゲノムデータベースから候補遺伝子の遺伝子多型情報を入手する。
第3回	対面：列挙した候補遺伝子について教員と討論し、最終的な候補遺伝子を決定する。
第4回	対面：様々なゲノムデータベースから必要な候補遺伝子の遺伝子多型情報を入手する。
第5回	対面：入手した遺伝子多型情報を基に多型解析解析方法を決め、詳細な実験計画を立案する。
第6回	対面：立案した実験計画について教員と討論し、最終的な実験計画をまとめる。
第7回	対面：候補遺伝子の多型解析を行う。(1)
第8回	対面：候補遺伝子の多型解析を行う。(2)
第9回	対面：候補遺伝子の多型解析を行う。(3)
第10回	対面：多型解析の結果をまとめ、臨床およびゲノム統計解析を行う。
第11回	対面：結果について教員と討論し、結果の解釈やまとめる方向性を再考する。
第12回	対面：結果とそれから導かれた道理や考察および結論をまとめる。
第13回	対面：考察や結論について教員と討論し、考察の展開や結論を再考する。
第14回	対面：さらに緒言と実験方法もまとめながら、研究論文全体の流れについて教員と討論する。
第15回	対面：すべてを統合して英語あるいは日本語で研究論文を作成する。

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046402D2	科目番号 / Course code	55046402
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 64811_788		
授業科目名 / Course title	臨床薬学課題研究 : 医薬品情報学 / Task Research on Clinical Pharmacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川上 茂 / Kawakami Shigeru, 向井 英史 / Mukai Hidefumi		
科目分類 / Course Category	演習科目 (必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skawakam@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-8563 (川上) 095-819-8564 (向井)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金 13:00～17:00 (事前にメールで予約すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の医薬品情報学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、医薬品情報学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的な位置づけ、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。 海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフォールドワーク調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の理解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。読解力 (30%)、資料作成 (10%)、解説 (30%)、質疑応答 (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。(0.5h) なお、発表資料は英語で作成し、準備すること。		
キーワード / Keywords	実験計画、結果解析		
教科書・教材・参考書 / Materials	英文論文は、指導教員がテーマにおいて指示する。また、自ら適切な英文論文を選択する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた場合は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	修論研究を効果的に遂行するうえで、基礎となる科目である。また、研究推進に必要な英語力を身に付ける。 作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードしてください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～60回（2h/回）（2年間）	研究計画の意義、研究に係わる法令・指針について学ぶ、研究課題に関する研究計画の立案、研究課題に関する論文調査、関連研究調査報告（セミナー等）、研究課題に関する論文調査と実験の実施・考察、研究のまとめ、レポート作成、プレゼンテーション

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0, 日 / Sun 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	16.0//
時間割コード / Time schedule code	202555066401D2	科目番号 / Course code	55066401
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 64911_788		
授業科目名 / Course title	臨床薬学特別実験：医薬品情報学 / Experiment on Clinical Pharmacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川上 茂 / Kawakami Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川上 茂 / Kawakami Shigeru, 向井 英史 / Mukai Hidefumi		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	skawakam@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学分野 教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8563		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金 13:00～17:00(事前にメールで予約すること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における医薬品情報学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身に着けることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1、DP-2、DP-3) 適当な方法と解析を行うことができる。(DP-1、DP-2、DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3、DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法の解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極的な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する。(0.5時間) 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える。(0.5時間)		
キーワード / Keywords	研究活動, 修士論文, 発表会		
教科書・教材・参考書 / Materials	英語文献の中から指導教員の推奨に従って適宜選択する。また、自らの判断で適切な英語論文を選択する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	学会や研究会などでの研究発表、英文原著論文執筆を目指して下さい。作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～360回 （2h/回）2年間	イントロダクション、実験計画、研究課題に関する論文調査と実験の実施・考察、中間発表、関連研究調査報告（セミナー等）、修論の作成、プレゼンテーションファイルの作成

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	4.0//
時間割コード / Time schedule code	20255046402D3	科目番号 / Course code	55046402
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 64811_788		
授業科目名 / Course title	臨床薬学課題研究 : 薬剤学 / Task Research on Clinical Pharmacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Miyamoto Hiroataka		
科目分類 / Course Category	演習科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	歯学部本館7階 薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金曜日 13:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	英語で書かれた生命薬科学の薬剤学分野に関する学術論文を読み、読解力を身につけるとともに、研究の最新情報を把握する。さらに、論文内容を正確に理解した上で、聴衆にわかりやすく口頭発表できる能力を養う。このことにより、薬剤学分野における専門知識を学び、研究分野の歴史的位置付け、未解決の課題、および研究の重要性を学ぶ。海外で開催される学会、あるいは海外での交流事業やフィールド調査に教員引率の下で参加し、成果発表、情報交換、データ収集などを行う場合がある。		
授業到達目標 / Course goals	必要な論文を学術雑誌やデータベースから正しく選択することができるようになる。(DP-2, DP-3) 英語で書かれた学術論文を正しく理解できるようになる。(DP-4) 内容を正確にわかりやすく発表することができるようになる。(DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	学術論文の読解力および内容の把握、適切な要約と正確な説明ができるかを評価の基準とする。 読解力(30%)、資料作成(10%)、解説(30%)、質疑応答(30%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：英語原著論文複数を読んで内容を把握し、セミナーで紹介する原著論文を選択し、熟読・整理し、発表原稿を作成する。(0.5h) 事後学習：ディスカッションあるいは教員等に指摘された箇所について調査し、理解を深める。また、専攻分野における研究課題との関連性についても考える。		
キーワード / Keywords	学術論文の検索、学術論文の読み方、質疑応答		
教科書・教材・参考書 / Materials	生物薬剤学(朝倉書店) 西田孝洋編著		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は対面形式で実施します。 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	英文の学術論文を読み、質疑応答のための準備学習が必要である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回4/9	データベースの利用法や目的の学術論文の検索法を講義する。（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第2回4/23	英文で書かれた学術雑誌の論文を読み、実験方法や結果、考察の読み方を講義する。（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第3回5/7	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（1）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第4回5/21	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（2）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第5回6/4	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（3）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第6回6/18	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（4）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第7回7/2	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（5）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第8回7/23	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（6）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第9回10/1	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（7）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第10回10/15	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（8）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第11回10/29	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（9）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第12回11/12	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（10）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第13回11/26	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（11）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第14回12/10	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（12）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第15回12/24	研究に関係する学術論文1報を選び、要約して報告し、質問に受け答える。（13）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0, 日 / Sun 0
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2027/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	16.0 / /
時間割コード / Time schedule code	202555066401D3	科目番号 / Course code	55066401
科目ナンバリングコード / Numbering code	BMMP 64911_788		
授業科目名 / Course title	臨床薬学特別実験：薬剤学 / Experiment on Clinical Pharmacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 麓 伸太郎 / Fumoto Shintaro, 宮元 敬天 / Miyamoto Hiroataka		
科目分類 / Course Category	実験科目(必修)		
対象年次 / Intended year	1, 2	講義形態 / Course style	実験 / Experiment
教室 / Class room	〔薬学〕各担当教員研究室 / Laboratory		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	生命薬科学専攻博士前期課程		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	歯学部本館7階 薬剤学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月～金曜日 13:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	生命薬科学における薬剤学分野における専門的知識を学び、実験や文献調査を行うことで、自ら主体的に研究を遂行できる能力を身につけることを養う。		
授業到達目標 / Course goals	研究目的の達成のために必要な研究計画を立案することができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 適当な手法と解析を行うことができる。(DP-1, DP-2, DP-3) 研究結果から妥当な結論と考察を導くことができる。(DP-3, DP-5)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ■倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	研究目的の理解とともに、必要な計画の立案と手法と解析の妥当性、考察と結論の妥当性より、研究遂行能力を総合的に評価する。 中間発表と質疑応答 10%、修士論文の完成度 50%、修士論文発表会の質疑応答 20%、日常の研究に対する積極な取り組み状況 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	事前学習：関連する過去の原著論文を読み、内容を把握し、研究テーマの目標や計画について理解する(0.5h)。 事後学習：教員と議論を行い、問題点の抽出、改善のための方策を考える(0.5h)。		
キーワード / Keywords	DDS		
教科書・教材・参考書 / Materials	学術論文		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	授業は対面形式で実施します。 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	研究計画の作成と実験結果の整理、考察の準備学習が必要である。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回4/9	ドラッグデリバリーシステムに関する最新の情報を収集する。そのためにデータベースを検索し、学術雑誌の論文を読むことを学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第2回4/23	実験計画を立案する。既報の論文より得られた情報から、未知の部分や未解明の部分把握し、理解する。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第3回5/7	ドラッグデリバリーシステムに関する投与方法を検討し、実験計画の立案に反映させることを学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第4回5/21	ドラッグデリバリーシステムに関する投与剤形を検討し、実験計画の立案に反映させることを学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第5回6/4	薬剤学研究室のセミナーで、実験計画の案を発表し、質疑応答により討論を重ね、臨床薬学研究者としての能力を育てる。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第6回6/18	薬物を臓器表面に投与した後の体内動態を把握することを学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第7回7/2	薬物の臓器表面からの吸収を検討するために、ガラス製拡散セルを用いた実験手法について学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第8回7/23	薬物を臓器表面に投与する際の適用条件(投与量、投与容量等)を変化させることを学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第9回10/1	薬物を臓器表面に投与するための剤形の工夫を学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第10回10/15	薬剤学研究室のセミナーで中間発表会を行い、実験結果について討議し、臨床薬学研究者としての能力を育てる。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第11回10/29	薬物を臓器表面に投与するための臨床適用可能な製剤について学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第12回11/12	各種の実験動物で検討し、種差とアニマルスケールアップについて学ぶ。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第13回11/26	薬剤学研究室のセミナーで実験結果を発表し、質疑応答により討論を重ね、臨床薬学研究者としての能力を育てる。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第14回12/10	研究成果を英文で作成し、研究報告を学術雑誌で発表できる能力を育てる。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天
第15回12/24	学術雑誌に投稿できる学術論文を完成させる。(対面)担当:西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天